

1 (表紙破損)
2 (破損)

3

経済録序

孔子ノ道ハ先王ノ道ナリ、先王ノ道ハ天下ヲ治ムル道ナリ、先王ノ道ハ六經ニ在リ、六經ヲ讀ミ先王ノ道ヲ學ヲ經濟ノ術ニ達セルハ譬ヘハ医者ノ經方ヲ学テ人ノ病ヲ治スルコト能ハサルカ如シ、博聞強記多才多芸ナルトテモ天下國家ノ為ニ其益少シ、漢朝ノ学者ハ皆經術ヲ修シテ治道ヲ論スルヲ務トス、賈誼・董仲舒ノ如キハスナハチ其臣撃ナリ、漢ハ古ヲ去コトイマタ遠カラサリシ故ナリ、漢ノ季ヨリ經術ヲ講スル者稍昔ニ及ハス、然レトモ唐以前ハ心法ノ説イマタ起ラス、是猶イマタ全ク古ヲ失ハサリシ、宋ノ代ニ及テ程氏

4

朱氏ノ學專ラ心法ヲ以聖人ノ道ヲ説ク、徽宗誤^与徽宗・欽宗共太宋天子狄人ニ取ラレテ君モ臣モコレヲ恥辱トセス、其讐ヲ復スル計ヲ求スシテ只誠意正心ノ説ヲ説ク、其後天下ヲ蒙古ニ取ラレテ天子海ニ浮ヘルニ陸秀夫力徒船中ニテ一本作日々大學章句ヲ講シテ涙ヲ流シケルトイフ愚昧ノ至リ一笑ニ余リ痛シキ事ナリ、是ナチ心学ノ余残ナリ、凡心法ヲ談スルハ釋氏ノ學ニテ先王孔子ノ道ニ決シテ無キ事ナリ、朱晦庵力同時ニ陸象山アリ、明ニ及テ王陽明アリ、其説朱氏ト異ナレトモ心法ノ主トスルコトハ同一途轍ナリ、是ヨリ先王ノ道世ニ昧クナリ、經濟ノ術地ニ墜チ、孔子ノ流尽テ儒者ノ業全ク乞食頭陀ノ行トナレリ、日本ノ學者モ

5

百年以来ハ皆宋儒ノ徒ニテ、心法ヲ講スルヨリ外ニハ孔子ノ道ヲ知レル者絶テ無シ、王公ヨリ以下ノ人ニ聰明ナルモ有テ經濟ニ志ス人ナキニアラストイヘトモ其道ヲ學ヒ其術ヲ習フヘキ由ナケレハ只一分ノ俗智ヲ用テ其政ヲ行ノミナリ、凡經濟ハ古ト今ト時ヲコトニシ中華ト日本ト俗ヲ殊ニスレトモコレヲ行フ術ハ少モ異ナルコトナシ、若古ニ宜クテ今ニ宜カラス彼國ニ宜クテ此國ニ宜カラスハ聖人ノ道トイフヘカラス、コレヲ行テ行ハルト行ハレスアルトハ行フ人ニ在リ、四方万国日月ノ照スホトノ地ニ聖人ノ道ノ行ハレスアルヘカラス、況ヤ

6

日本ハ往古ヨリ中華ノ道ヲ用テ治メ來レル國ナレハ末世トテモ再興セラレマシキ非ス、若英雄豪傑ノ人アリテ上ニ用ラレ時

ヲ得テ其術ノ施サハ先王ノ道孔子ノ教海内ニ行ハレテ万

民其訣ヲ被ランコト日ヲ計テ待ヘシ、昔人千金ヲ費シテ

龍ヲ屠ル術ヲ学シカ、屠ル龍ナクテ空キ一生ヲ終シトカヤ、純力
如キ者是ニ似タリ、然トモ此身此マヽニテ終ラハ学得タル屠龍ノ
芸徒ニ土中ノ物トナルヘキモ惜ケレハ拙キ筆ニテ記録シテ筐中ニ
藏置キ、広キ世間ニ若龍ヲ得テ屠ラントヲモハン人アラハ潜コレヲ
授テ其謀ヲ替ント願フ、是純力平生ノ微志ナリ、若此ウチニテ

7

万分力一ヲモ取用ラルヽコト有ラハ此身死ストモ生ルカ如ナラン
漢ノ賈誼力長大息シテ治安ノ策ヲ文章ニ献セシハ其身朝
士ノ列ニ在シ故ナリ、今純ハ竹野ノ民ナリ、何ソ敢テ賈生力為ニ
傲ンヤ、只憤懣ニ堪スシテ聊胸中ノ蘊ヲ吐クノミナリ

享保十四年己酉二月八日

東都處士本姓平手氏中務大輔政秀五世孫

太宰純書

序終

経済録凡例

一 凡経済ノ術ハ中華ノ先王ノ道ヲ至極トス、先王トハ唐虞ノ

8

二帝、夏殷周三代ノ明王ヲ指テ言フ、二帝三王ハ皆大聖人ニテ
神妙ナル智慧ヲ以テ天下ヲ治タマヘハ其定メヲカレタル法式ハ
何レモ万世ノ鑑ナリ、三代ノ王者ノ中ニ中興ノ主ト称スル君モアマタ
アリ、大聖人トイホトニ非ストモ、其大祖ノ聖人ノ道ヲ能ク守リ
賢者ヲ举用テ中興ノ業ヲ立タマヘハ其功ハ聖人ト異ナル
事無キ故ニ堯・舜・禹・湯・文・武ノ君ト同等、尊崇シテ都テ
先王ト称スルナリ、孔子ノ説タマヘル道ハ此先王ノ道ナリ、秦
漢ヨリ以後ハ先王ノ道ニ違ルコト多キ故ニ輕々シク用ヒカタシ
先王ノ道ナレハトテ今ノ日本ニコレヲ全ク其マヽニテ行フヘキニハ
明王ヲ指ト知ルヘシ

アラネトモ天下ヲ治メハ何事モ古ヲ稽テ是ヲ本トシテ料簡セサ

レハ末世ハ俗智ニ率レヤスシ、俗智ハ大ニ害ヲナスナリ、今此書ニ
必先王ノ事ヲ称スルハ本ヲ明サントナリ、先王ト云ハ周以前ノ
明王ヲ指ト知ルヘシ

一 凡公家ノ世トイフハ源平ノ乱ヨリ以前、公家ノ治シ時ヲ指ナリ

武家ノ世トイフハ鎌倉右大将家ヨリ以後トイフ、室町家ト云ハ

京都將軍足利氏ノ世ヲ云、織田氏ハ信長ナリ、豊臣氏ハ太閤秀

9

吉父子ナリ

一 中華ニテ漢ノ代ニハ大將軍ノ宦ヲ重シテ三公ト同等ニセシナリ
10

日本ハ征夷大將軍ハ三位ノ宦ナリ、漢ノ大將軍ニ比スレハスコル輕シ
今ノ大將軍ハ海内ヲ看テ玉ヘハコレ則日本國王ナリ、サレハ室町
家ノ時、明ノ永樂ノ天子ヨリ鹿苑院殿ヲ日本國王ト称シテ書ヲクリ
タマヘリ、当代ニハ東照宮ヨリ山城天皇ヲ憚セタマイ謙遜ニ
過テ王号ヲ称玉ハズ、謙遜ハ誠ニ盛德事ナレトモ國家ノ尊号
正シカラサレハ文字ニ見シ書籍ニ載ルニ及テ何トモ称シ奉ルヘキ
様ナシ、大君ト称シ奉ル者アレトモ僭称ナリ、大君ハ天子ナリ、將軍ハ
尊爵ニ非ス、大樹ト云モ將軍ノ別号ナリ、室町家ノ時ヨリ公方
称アレトモ義理ナキ文字ナリ、和漢ノ礼制先蹤ヲ考ルニ王ト称奉

11
ルヨリ外ニシカルヘキ尊爵ナシ、シカレトモ上ニテ称シ玉ハヌ王爵下
ヨリ妾称奉ヘキ義ナキ故ニ敢テコレヲ書セス、センカタナクシテ県宦ト
書ス、県宦モ天子ヲ称スルニ用ル字ナレトモ実ハ今ノ世ニ公義トイフ
カ如シ、大君ト云ヨリ較汎キ詞ナリ、或ハ國家ト称シ奉リ、或ハ
朝廷ト称シ奉ル処モ有リ、此ニツハ又汎キ詞ニテ処ニヨリ

君上ヲ指シ奉ルニナルナリ、皆是斟酌ノ詞ナリ、此書ヲ読ン人怪ミ
タマフヘカラス、孔子ノ言ニ名不止則言不順トノタマヒシ事今更思ヒ當レリ、サレハ
文廟ノ朝鮮王ニ復書シタマヒシトキニ日本王ト称セラレシハ英
断ニテ義ニ当レル事ナリ、僭称ト云ヘカラス

12
一 日本ニテ御ノ字ヲ用ル事妾ナリ、御ハ車ヲ御スルト云ヨリ出タル

字ナリ、車ヲ御スルト云ハ、古ノ車ニハ四匹ノ馬ヲ駕シテ来ルヲ駒馬ノ車ト

イフ、五馬六馬ノ車モ有 ■
(虫撰)、車ノ上ニテ轄ヲ執テ馬ヲ使フ者ヲ御者
者ト云、天子ノ天下ヲ治玉フ事御者ノ馬ヲ使フニ似タルユヘニコレヲ
御宇トイフ、宇内ヲ御スルト云義ナリ、是ニヨリ推テ何ニテモ天子ノ
事ニ皆御ノ字ヲ用フ、天子ノ衣服ヲ御衣御服トイヒ食物ヲ御
膳トイヒ座ヲ御座トイヒ器物ヲ御物トイヒ又ハ御用ノ物トイフ
類ナリ、出御・入御・還御ノ類モ皆天子ニ限タル詞ナリ、天子ニ非スシテ
御ノ字ヲ用ル事ハ無キ事ナリ、日本ニテハ昔ヨリ貴賤ミナ御字

ヲ用ル事海内ノ風俗ナリ、僭妾トイフコトヲ知ラス、殊ニ今ノ世ニハ益
妾ナルノミナラス御ノ字ヲ尊ム意ナルニ尊フマシキ尊ヒテ御字ヲ

加ル詞アリ、タトヘハ宮中ニ直宿スルヲ己カ口ヨリ御番トイヒ、己力

仕宦スルヲ御奉公トイフ、此ルイ甚多シ、一笑ニ余レル事ナリ、今此書ニ凡テ御ノ字ヲ去テ書セス、是曾テ上ヲ輕シメ奉ルニハ

非ス、僭妄ヲ改メ愚蒙ヲ除ン為ナリ、読ム人純ニ不敬ノ罪ヲ加ラレスハ大

幸ナラン

一 中華ニテハ夏殷周ノ三代ヨリ以後ハ王者ノ興ルコトニ必一代ノ国号

ヲ立ツ、秦・漢・魏・晋・宋ノ如キ、皆其王者ノ興シ國ノ名ヲ以テ其一代

14

ノ天下ノ總号トス、元ノ太祖ハ蒙古ノ人ニテ天下ヲ取シカ、蒙古ハ夷狄ナル故ニコレヲ恥テ其本国ノ名ヲ称セス、別ニ国号ヲ立

元ト称セリ、是ヨリ後ハ此例ヲ追テ明ノ太祖ハ中華ノ人

ナリシカトモ興レル処ノ国ヲ称セス新ニ国号ヲ立テ天下ヲ

明ト称ス、今ノ清朝ハ又韃靼ノ人ニテ天下ヲ取タレハ、元朝ノ旧

例ニ隨テ清トイフ号ヲ立タリ、是ミナ天下ヲ新シクスル意

ニテカクノ如クセデ叶ハサル義ナリ、日本ニテ公家ノ世ハ只日本トイフ

本号ヲ称シテ別ニ国号ヲ立ルニ及ズ、武家ノ世トナリテハ鎌倉

ノ世トイヒ室町ノ世ト云、コレ則武家ノ国号ナリ、カヤウニ其一代ノ

15

惣号ヲ称セサレハ時代別レスシテ古今ノ事実混乱スル故ニ上ニテ国号ヲ立ラレネトモ自然下ヨリカクノ如ク称スルナリ

東照宮海内統御シタマヒテヨリ以来ハ江戸ニ都ヲ定タマヘハ

鎌倉室町ノ例ニ依テ江戸ノ世トモイフヘシ、中華ノ人ハ当代

ヲ称スルニハ必其国号ヲイフ、常ノ事ナリ、当代ノ朝廷ヲ称スルニハ

國朝トモ本朝トモ我朝トモ日本ノ今ノ世ノ事ヲ言ントスルニ国号

ナケレハ何トモ称スヘキ詞ナシ、サレハ此書ハ神祖以来ノ事ヲ

言フニハ当代ト称ス、愚俗ノ詞ニハ御当代又ハ当御ナト、云

今御ノ字ヲ去レルナリ、其儀上ニイフカ如シ、恭敬ヲ忘タルニハ非ス

16

一 昔周ノ代ノ諸侯ハ公侯伯子男ノ五等ヲ以其國ノ大小爵位ノ尊卑ヲ分ケリ、日本当代ノ定メハ万石以上ヲ大名ト云、是則

諸侯ナリ、其分列ヲ言ヘハ、万石以上・五万石以上・十万石以上・三十万石以上ト四等三分ツ、其品第ヲ言ヘハ、國主・城主・領主ト三等ニ

其爵位ヲ言ヘハ、大・中納言・參議・中將・少將・侍從・四位・五位ノ八等アリ、畢竟皆諸侯ナリ、此書ニハ万石以上ヲ諸侯ト称シテ細ニ

分タス、万石以上ヲ領ル封キヤウノ内ヲハ大小ヲ論セス皆國トイフ異國ノ古ニ倣テ称ルナリ、凡國ト言ハ人領スルナリ由テ名ツ

凡大夫ト云ハ天子ノ朝ニテハ五品以上ヲ大夫ト云、大夫ノ中ニテ
一等貴キ者ヲ卿ト云、諸侯ノ臣ノ中ニテハ国政ニ預ル重キ者ヲ

大夫ト云、大夫ノ内ニテ天子ヨリ爵命セラレテ貴キ者ヲ卿ト云

今ノ世ニハ國家直参ノ人ノ中ニテ五位以上ハ大夫ナリ、諸侯ノ臣ニテハ

俗ニ家老トイウ者則大夫ナリ、諸侯ノ大小ニヨツテ其大夫ニモ亦尊

卑アリ、異国ニテハ家老トイフハ大夫ノ家ノ宰臣ナリ、異国ニテハ

古ハ天子ヨリ以下諸侯・大夫マテ嫡子ヲ太子ト称ス、又ハ世子トモイフ

即位ト云詞モ天子ヨリ諸侯・大夫マテ通用セリ、政事ヲ行フ

処ヲ朝ト云ヒ、臣下ノ出仕スルヲ朝スルト云モ天子ヨリ諸侯・大夫マテ

同然ナリ、後世ハ天子ノ嫡子ヲ皇太子ト称シ、諸侯ノ嫡子世子ト
称ス、即位ト云ハ天子・諸侯ニ限ル、朝ノ字モ大夫ニハ用ヒス、此書ニ世
子ト称ルハ諸侯ノ嫡子ナリ

一 此書ニ執政ト称スルハ今ノ老中ヲ指ス、執事ハ少老中ナリ、宦

人トイフハ諸役人ナリ、吏トイフハ小役人・与力・手代ノ類ナリ

卒ト云ハ足輕ナリ、徒ト云ハ中間ナリ、朝士ト云ハ直參麾下ノ

諸士ナリ、處士トイフハ浪人ナリ

一 凡君子トイフハ士ヨリ以上ナリ、小人ト云ハ細民・奴婢ノルイヲイフ
是古ノ名目ナリ、君子・小人ヲ善人・惡人ト見ルハ宋儒ノ謬説ニテ

経伝ニ無キ事ナリ

一 仏法ニ信ヲ尚フニツキテ仏法大海信為能人ト云文アリ、仏法ハ

大海ノ如クナル者ニテ入カタキ事ナレトモ、信心アル者ハヨク入ルト云義

仏法ノ中ノ語ナレトモ至極ノ道理ナリ、仏法ノミニ非ス何事モ信

スル心深カラサレハ其道ニ達スル事無シ、サレハ孔子モ信而好古

トノタマヘリ、今此書ハ純力愚陋ナル心ヲ拙キ詞ニ著シタレトモ

先王聖人ノ道ヲ本トシテ孔子ノ教三従ヒ和漢ノ往蹟ヲ考

テ今日ノ事務ヲ論スル事的切ナリ、若聖人ノ道ヲ信スル心アラン

人ニハ看スヘカラス、凡書ヲ看ルニハ虛心ニテミルヲヨシトス、虛心トハ

己カ我ヲ立ス心中ニ一物モ蓄ヘサルヲ虛心ト云、書中ニ数々事アルヲ
見テ此中ニ定テ善キ事アルヘシト云心ニテ細看スレハ心益ヲ
得ル者ナリ、シカレトモ純カイフトコロ悉是ニシテ悉是ヲ用ヒ
タマヘカシト思ニモ非ス、看ル人ノ心ニ愚慮ヲ加テ百ニツモ善キ

道理ヲ見ツケテ取用ヒラルゝ事アラハ大幸ナランノミ

太宰純識

凡例終

2 1

経済録篇目

第一巻

経済総論

第二巻

礼樂

第三巻

宦職

第四巻

天文

第五巻

食貨

第六巻

祭祀

第七巻

学政

附釋

武備

第八巻

章服

第九巻

法令

第十巻

刑罰

目録終

2 3

制度

第十一巻

無為

易道

経済録卷第一

信陽 太宰純 撰

経済総論

凡天下國家ヲ治ムルヲ經濟ト云、世ヲ經メ民ヲ濟フトイフ

2 4

義ナリ、經ハ經論ナリ、周易ニ君子以經論トイヒ、中庸ニ經ニ一論ス
天下之大經ヲトイヘル是ナリ、經論トハ絲ヲ治ムルライフ、布ノ綾

ヲ經トイヒ横ヲ緯トイフ、工女絹布ヲ織ルニ先經ノ絲ヲ治テ
其縷ヲ條達スルヲ經トイフ、此方ノ言ニ布ヲヘルトイフ是ナリ

綸ハ絲ヲヨルナリ、又經ハ經營ナリ、毛詩ニ經「始靈台」經

レ之當」之トイヘル是ナリ、經ハ度也ト註ス、度ハハカルト読ム、此方ノ

俗語ニツモルトイフ意ナリ、宮室ヲ造営スルニ初二其事ノ全体ヲ
ツモリテ處分スルヲ經ト云也、濟ハ濟渡ノ義也、ワタルト讀ミワタ
ストヨムハ川ヲ渡リテ向フ岸ニ到ルヲ濟トイフ、周易ニ既濟未濟

25

ノ卦アリ、尚書ニ弘_一濟_二テ艱難_三康_四濟ス小民_五ヲナト_六アル、皆此義ナリ
又救濟ノ義也、スクフト読ム、人ノ苦ミヲ救フ也、又成也ト註ス、事ヲ
成就スルヲイフ、此數ノ義アレトモ帰スル所ハ一致也、畢竟事ヲ
治テ其事ノ成就スル意也、堯・舜ヨリ以来曆世ノ聖賢心ヲ尽シテ
言ヲ立テ教ヲ垂タマフハ皆此經濟ノ一事ノ為也、聖人ノ道ハ天下
國家ヲ治ムルヨリ外ニハ別ニ所用ナシ、孔子ノ門人七十二賢ヨリ
後来ノ学者皆此事ヲ學フ者也、是ヲ捨テ学ハスシテ徒ニ詩文

著述ヲ事トシテ一生ヲ過ス者ハ真ノ学者ニ非ス、琴・棋・書画等ノ
曲芸ノ輩ニ異ナル事無シ、縱一世ノエヲ極テ其名ヲ字内ニ高クストモ

26

只自己ノ樂ミ世ノ玩トナルノミニテ國家ノ為ニ其益少ケレハ聖
人ノ大道ヲ無用ノ閑事トナス、其罪逃カタカルヘシ、今ノ学者数千
載ノ下ニ生レテ才学見識ハ古人ニ及ハストモ聖人ノ書ヲ讀テ頗
義理ニ達セハ如何ニモシテ此一大事ノ為ニ心力ヲ竭シテ理世安
民ノ術ヲ世ニ宣布スヘシ、サモアラハ方物ノ靈トイフニ負カスシテ
天地ノ徳ニ報フ事有ルヘシ、聖人ノ經濟ハ六經ニ載テ昭々タリ
中庸ニ文武ノ政布有方策トイヘル是也、周ノ代ヲ衰ルニ当リテ
齊ノ桓公トイヘル君、管仲ト云賢者ヲ用テ霸業ヲ成ス、管仲力
政功利ヲ先トシ国ヲ富シ兵ヲ強クスル事ヲ努テ、二帝三王ノ

27

治ニ及ハサレトモ桓公ヲ相テ九タヒ諸侯ヲ合セテ一タヒ天下ヲ匡
セル功、天下ノ為ニ補アル事甚多シ、然ル故ニ孔子ハ盛ニ管仲力
功ヲ称シタマヘリ、後ノ儒者はヲ霸術ト名ツケテ管仲ヲ賤ムル
事ハ孟子ヨリ始レリ、凡國ヲ富シ兵ヲ強クスルハ霸者ノ務ナレ
トモ、二帝三王ノ道本ヨリ是ヲ外ニセス、周ノ末ニ及テ諸子百家
作ル、戰國ノ時、申不害・韓非力徒刑名法術ヲ以世主説ク
聖人ノ道ニアラサレトモ是亦經濟ノ一端也、秦ノ孝公ハ商鞅
ヲ用テ其國ヲ強クシ、始皇帝ハ李斯ヲ用テ六國ヲ滅シ

海内ヲ并ス、遂ニ再諸侯ヲ建ス天下ヲ一国トナシテ郡縣ヲ

28

立ツ、是古今ノ一大変也、秦ノ代僅ニ三世ニテ亡フ、漢ヨリ以後制度ヲ立ル事ハ往古ヲ斟酌シテ時宜ニ隨フトイヘトモ郡縣ノ制ハ秦ノ軌轍ニ從テ改メス、二十年ヲ歷ヲ今ノ世マテ二帝三王ノ治ニ復セシテ商鞅・李斯カ法ヲ守レリ、此二人ノ者ハ豪傑ナル故ニ聖人ノ道ニ背ア別三ツノ經濟ヲ出セリ、是ヨリ其後經濟ヲ言ル者ハ漢ノ司馬遷ヲ首トス漢朝ニ經濟ヲ言ル者多クハ一事ノ上ニテ論スルノミ也、司馬遷ハ史記ヲ作テ其中ニ八書ヲ著セリ、八書ハ禮書・樂書・律書・曆書・天宦書・封禪書・河渠書・平準書也、此八篇ハ政務

29

ノ要也、礼書ハ礼ヲ論ス、樂書ハ樂ヲ論ス、治道ノ礼樂ヲ先トスル故也、律書ハ十二律ヲ論ス、律ハ天下ノ物度軌則ノ本也、尚書ノ舜典ニ同律度量衡トアルニ由テ也、曆書ハ曆法ヲ論ス、尚

書ノ堯典ニ乃命義和欽若昊天曆象日月星辰敬授人時

トアリ、又帝堯ノ言ニ咨汝羲暨和暮三百有六日以閏月

定四時成歲トアルニ由テ也、曆ヲ明ニスルハ政ノ要務ナレハ也、天宦

書ハ天文ヲ論ス、舜典ニ在璿璣玉衡ヲ以斎七政トアルニ由テ也曆法ヲ正サントスルニハ天文ヲ明ニシ推歩ヲ詳ニスルヲ本トスル故也、封禪書ハ禱祠祭祀ノ事ヲ論ス、左伝ニ國之大事在祀

30

与戎トイヘリ、祭祀ハ國ノ重事ニテ先王ノ慎タマフ所ナレハ也、河渠書ハ天下ノ水道地理ヲ論ス、尚書ニ禹貢ノ篇アリ、水道ヲ利シ地域ヲ画シ人民ヲ居クハ經國本ナル故也、平準書ハ錢穀ノ政ヲ論ス、尚書ノ大禹謨ニニ事ヲ言フニツニ利用ニツニ厚生也、錢穀ノ政ヲ治ムルハ利用厚生ノ道ナリ、論語ニ子貢政ヲ問ヘルニ孔子答テ足食足兵信之矣トノタマフ、又武王ノ政ヲ称シテ所重民食喪祭トイヘリ、錢穀ノ政ハ人民ノ利病ノ係ルトコロ、尤重キ故ニ太史公モ殊ニ詳ニコレヲ論セリ、太史公古往今來ヲ考テ当代ノ經濟ヲ論スル事カクノ如クソレ

31

詳也、是ヨリ後ノ国史ヲ作ル者皆是ニ倣テ一代ノ經濟ヲ言フ、太史公力書スル所ハ誠ニ万世ノ法也、然レトモ太史公ハ武帝時ノ人ナレハ書中ニ論スルトコロ武帝以後ノ事ニ及ハス、漢ノ制度武帝ノ後ニ定マリタル事モ多ケレハ太史公力書モイマタ全

備トイフヘカラス、後漢ノ班固漢書ヲ作テ前漢ノ世ヲ紀スル事詳也、其体裁悉太史公ニ倣ヘリ、八書ニ倣テ十志ヲ作ル、只書ヲ改テ志ト名ツケタルノミ也、律書・曆書ヲ合テ律曆志ヲ作り、礼書・樂書ヲ合セテ礼樂志ヲ作り、平準書ニ依テ食貨志ヲ作り、封禪書ニ依テ郊祀志ヲ作り

32

天宦書ニ依テ天文志ヲ作り、河渠書ニ依テ溝洫志ヲ

作り、別ニ地理ヲ詳ニシテ地理志ヲ作レリ、外ニ刑法志ヲ作レルハ刑罰ハ治道ノ助ナレハ也、五行家ノ説ヲ取テ五行志ヲ作レルハ災異ノ説ハ洪範ニ本ツキテ治道ノ用アル故也、芸文志ヲ作

テ天下ノ諸道芸術ヲ論ス、是亦國家ヲ治ムル具ナレハ也

是ヨリ以来暦代ノ国史皆班史ニ倣テ必志ヲ作テ一代ノ制

作政務ヲ紀ス事沿革アリ、興廢アル故ニ志ノ篇目ニモ多少

異同アリ、沿革トハ前代ノ政ニ因ルヲ沿トイヒ、前代ノ政ヲ改ムルヲ革トイフ、又損益ト云事有リ、前代ノ制度ヲ減裁スルヲ

33

損トイヒ、増加スルヲ益ト云、論語ニ所損益可レ知也トイヘル是也

損益ハ一事ノ上ニモ有ル也、曆史ヲ読ム者此等ノ義ヲ以テ古来

経済ノ不同ナル事ヲ知ルヘシ、凡經濟ヲ論スル者知ルヘキ事

四ツ有リ、一ツニハ時ヲ知ルヘシ、二ツニハ理ヲ知ルヘシ、三ツニハ勢ヲ知ルヘシ、四ツニハ人情ヲ知ルヘシ、一ツニ時ヲ知ルトハ古今ノ時ヲ知ル也、中華ニテ周ヨリ以前ハ帝王ノ地ヲ方千里ニ定メテ

是ヲ王畿トイフ、其外ハ諸侯ヲ封シ万国ヲ建テ国々

各別ニ治シム、是ヲ封建ノ政トイフ、秦ノ始皇ニ至テ諸侯ヲ滅シ國名ヲ去リ天下ヲ一国トナシ三十六郡ニ分テ宦吏ヲ

34

置テ治シム、漢ヨリ以来暦代コレニ因テ改メス、郡ノ内ニ県ヲ置キ郡ハ日本六十六州ノ如シ、県ハ此方ノ郡ノ如シ、郡ヲ治ムル者ヲ守

トイヒ県ヲ治ムル者ヲ会ト云、海内ヲ挙テ天子ノ国トナシテ諸侯ヲ建ス、守会ヲ置テ治シムル故ニ是ヲ郡県ノ治トイフ、サレハ周以前ハ天下封建ニテ秦以後ハ郡県也トイフコトヲ知ル、是

経済ノ論スル第一義也、然ルニ封建ノ政ハ三代以前載籍備ラサレハ得テ考フヘカラス、今經伝ヲ考テ其大略ヲ知ルヘキハ

周一代ノ政也、郡縣ノ治ハ秦漢以後暦代ノ紀録多ク伝ハリテ

有レハ詳ニコレヲ考ル事ヲ得ル也、然レトモ二十年來暦代ノ沿革損

35

益多端ナレハ其異同ヲ知コトハ容易ナラス、日本ハ上古ノ事紀載詳ナラサレハ考ヘ知ル事ヲ得ス、神武天皇帝位ニ即タマヒシ時

如何ナル法ヲ立玉ヒシヤラン、諸侯ヲ建ル事モ無ク郡県ヲ置事モ無ク洪荒草昧ノマヽニテ數百年ヲ歴タリト見ユ、其後異国ノ

交通スルニ及テハ中華ハ既ニ郡県ヲ治ナレハ吾国モ是ニ倣テ國

郡ヲ定置テ國ニハ國司ヲ立テ郡ニハ郡司ヲ立タリ、中華ニテハ州

郡ヲ以縣ヲ統フ、縣ハ州郡ノ内ニ在リ、州ト郡トハ名ハ異ニシテ実

ハ同シ、郡トイフモ郡也、郡ト云モ州也、日本ニテハ國ヲ以テ郡ヲ統フ

郡ハ國ノ内ニ在リ、日本ノ郡ハ中華ノ縣ニ當ル也、國ハスナハチ州也

36

然トモ中華ニテハ國トイヒ州トイフ其義別也、國ト云ハ諸侯ヲ建ル

時ノ名ニテ土地ノ名ニハ非ス、州トイフハ土地ノ名也、諸侯ノ封城ノ内ヲ國ト
イフ、サレハ數州ヲ兼并シテ一國トナスコト有リ、一州ノ内ヲ分割シテ

二國三國トナス事有リ、是國ハ封建ノ名ナル故ニ中華ニテハ州郡トイヒテ

ノ縣令ノ如シ、國司トイフハ國ノ守也、守ノ下ニ介アリ據アリ目アリ

四等ノ宦人ヲ以テ一國ヲ治メシ也、中古ヨリ保元平治ノ代マテハ
カク如ク也シニ、源平ノ乱ノ後右大將頼朝卿後白河法皇ノ命ヲ
受テ日本ノ總追捕使トシ玉ヒシヨリ國司ノ外ニ守護職トイフ

37

者ヲ諸國ニ置テ其權ヲ制セシ故ニ國司ノ權イツトナク武家ニ奪
ハレテ公家ハ次第ニ衰へ、関東ノ御家人トイフ者咸ヲ處々ニ振ヘリ
是將軍家ノ海内ヲ統御シタモノ始也、是一大變也、鎌倉將軍ノ
代ハ北條氏執權ト称シテ政柄ヲ執シカトモ其政ハ右大將家ノ法ニ
依テ貞永ノ式目ヲ用テ治タリ、其末ニ元弘ノ乱起リテ鎌倉亡ヒ
暫公家一統ノ世トナリシカ、程ナク又乱テ天下遂ニ足利氏ニ属セリ
武家ノ政前代ニ因ルトイヘトモ世変リ風移ルニ隨テ万事ノ法
制漸ニ変セリ、公方家ノ政海内ニ行ハルヽニヨリテ公家ハ弥
衰ヘ國家ハ日ニ盛也、是ヨリ諸國ニ國司ヲ置カス守護ハカ

38

リヲ置キ、其上ニ管領トイフ者ヲ立テ諸國ヲ統治セシメタリ
是又一変也、室町家ノ衰ルニ及テ管領ハ勢強クナリテ相互ニ
權ヲ争ヒ、守護ハ其國ニ居テ恣ニ近隣ヲ侵伐セシホトニ、其中
ヨリ豪傑崛起シテ遂ニ戰國ト成レリ、既ニシテ室町家亡ヒテ
天下織田氏ニ属セントセシカ、イマタ海内ヲ統一スルニ及ハヌシテ忽焉
トシテ事敗レタリ、豊臣氏匹夫ヨリ起リテ織田氏ニ代リ能ク海

内ヲ統一シ玉ヒシカトモ偏ニ武力ニ任テ仁政ヲ施シ玉ハサリシ故ニ一世ヲ
終トシテ滅亡シ玉ヘリ、我力東照神祖累世ノ余烈ヲ奮タマ

ヒテ、神武不殺ノ徳ヲ以テ天ニ順ヒ人ニ応シテ海内ヲ定メ万世ノ

39

鴻業ヲ創玉ヘリ、室町家ノ時ヨリ諸国三大名高家トイフ者

多ク有リ、又守護職ノ家ニテ累世其國ヲ領シテ君主ノ如クナル
者モ有テ、イツトナク天下封建ノ如クニ成タリシヲ

神祖登極ノ初二同姓ノ貴族并ニ勲勞ノ諸臣ヲ枢要ノ地ニ
封シテ國家ノ藩屏トナシタマヘ、旧ヨリ分国アリテ領主タリシ者

ヲハ其所領ヲ故ノ如クニシテ安堵セシメ玉ヒ、朝覲職貢ノ法ヲ定ラレシ
ヨリ天下遂ニ真ノ封建ト成テ中華ノ周ノ代ト略相似タリ、是又一大
変也、然レハ中華ハ往古ハ天下封建ニテ秦漢以降ハ郡県也、日本ハ

古ハ郡県ノ政ニテ今ハ封建也、異国太邦古今ノ世変カクノ如シ、是ヲ知ラス

40

シテ一概ニ古道ヲ以テ今ニ行ハントスレハ時ト齟齬シテ行ハレス、其行ハレ
サルニ及テハ古道終ニ国家ノ治ニ益ナシトイハントス、是大ナル誤也、然ル
故ニ治道ヲ論スルニハ時ヲ知ルヲ最要トスル也、ニツニ理ヲ知ルトハ

理ハ道ノ理ノ理ニ非ス、物理ノ理也、物理トハ凡物ニハ心理アリ、理ハ木ノモクメ
ナリ、物ノスチメ也、木ノモクメヲ木理トイフ、玉石ノ類ニモ必モクメ有リ
玉ノモクメヲ玉理トイヒ石ノモクメヲ石理トイフ、人ノ肉ノ鳥獸

魚鼈ノ内ニモ必モクメ有リ、肉ノモクメヲ肉理トイフ、木ニモクメ

有ル如ク凡物ニハ必スチメトイフ者アリ、是ヲ物理ト云、凡物ノ理

ニハ必順逆アリ、サル故ニ物ヲ治ムル理ニ順ヘハ治マル、理ニ逆ラヘハ治ラス

41

譬ヘハ木ヲ斬ルカ如シ、木ノモクメヲ順ニケツレハ刀滯ラスシテ思フマヽニス
ラタトケツラル、其モクメヲ逆ニケツラントスレハ必刀滯リテケツラレス、強
テ斬レハ必斜ニ殺ユク也、サレハ工人ノ好キ鉋ニテモ木ノモクメヲ逆ニケツ
ルコトハ能ハス、又水火ノ如キ、水ハ潤下シ火ハ炎上スル、是自然ノ理也、其
理ニ逆ラヒテ水ヲ上ヘ上セ火ヲ下ヘ下ス事ハ決シテ能ハス、カクノ如ク
物々ニ必其理アル如ク天下ノ事ニモ亦必其理アリ、政ヲナシテ若其理
ニ逆ラヘハ大事モ小事モ決シテ行ハレス、民ハ微賤ナル者ナレトモ理ニ
逆ラヒタル政ニハ必從ハス、如何ナル猛威ニテモ是ヲ從ハシムル事能ハス
其從ハサルヲ強テ從ハシメントスレハ事ノ敗トナリ乱ノ階トナルナリ

42

然ル故ニ政ヲナス者ハ事々ニ就テ其理ヲ求ムヘシ、既ニ其理ヲ得テハ
其理ニ順テ逆ラハヌ様ニ行フヘシ、是ヲ理ヲ知ルトイフ也、ニツニ勢ヲ

知ルトハ、勢ハ事ノ上ニ在テ常理ノ外ナル者也、譬ヘハ水ト火トノ如シ、水ハ

火ニ勝ツ者ナレトモ水ヲ以テ大火ヲ救フ事能ハサルハ火ノ勢強ケレハ也

又風ハ火ヲ熾ニスル者ナレトモ燈燭ノ火ハ風ニ吹レテ滅ルハ火ノ勢風ニ及ハサル故也、又油ハ火ヲ助ル者ナレトモ焰々ノ火ニ數石ノ油ヲ覆セハ

必滅ルハ事ノ勢也、又水ハ卑キ處へ流ルゝ者ナレトモ激シテ行レハ

高キ處へモ上ル、勢ノ然ラシムル也、又堅キ木ニ大ナル釘ヲ打ツニ

重キ石ヲ以テ壓テハ入カタキヲ小キ鐵槌ニテ打テハ即時ニ入ルモ

4 3

勢也、凡此類皆勢トイウ者ニテ常理ノ外ナル事也、天下ノ事ニ理ト勢トニツ有リ、理ヲ知テ勢ヲ知ラサレハ大事ヲ行フ事能ハス、勢ヲ知テ理ヲ知ラサルハ大謀ヲ立ル事能ハス、必理勢ノニツヲ兼明メテ理ノ達セサル所ヲハ勢ヲ以テコレヲ達シ、勢ノ行ハレサル所ヲハ理ヲ以テコレヲ行ヒ、理ヲ以勢ヲ主トリ勢ヲ以テ理ヲ佐ケ、理勢相濟シテ両ナカラ其用ヲ尽ス、是政治ノ要術也、四ツニ人情ヲ知ルトハ天下ノ人ノ実情ヲ知ル也、実情トハ好惡苦樂憂喜ノ類ヲイフ、好ハスキコノム也、惡ハニクミキラフ也、（貼紙）「○苦ハクルシム也、樂ハタノシム也、憂ウレフル也、喜ハヨロコフナリ」（貼紙下）「人ニ此情ナキ者アラス、大人」小人貴者賤者少モカハル事無シ、又父母妻子恩愛ノ情モ貴賤

4 4

カハラス此等ノ情ハ皆人ノ天性ノ誠ヨリ出テ少モ偽ナキ者ナル故ニ是ヲ実情トイフ、情ノ字ニ実ノ字ノ意アル故ニマコト、モ読ムナリ又貴人ニ貴人ノ情アリ、小民ニ小民ノ情アリ、士ニ士ノ情アリ、農工商賈ニ農工商賈ノ情アリ、男子ニ男子ノ情アリ、女人ニ女人ノ情アリ人ノ品ニヨリテソレ々ノ情力ハル事モ有レトモ情トイフハ凡テ偽ナキ處ヲ指テ言フ也、凡政事ヲ施テ人情ニ協ヘハ民従ヒヤシ人情悖レハ民従ハス、人情ニ協フトハ人ノ好ミ樂ミ喜フ事ヲ行フナリ、人情ニ悖ルトハ人ノキラヒ苦ミ憂ル事ヲ行フ也、士大夫ハ大抵義ヲ知テ道ヲ守ル心モ有ル者ナレハ（貼紙）「人情ニ協ハス政ニモ情」ヲ

4 5

抑ヘ情ヲ制シテ姑従ヘトモ、本来心ノ安カラヌ事ナレハ自然法令ニ違ヒ制禁ヲ犯ス者モ出来ル事必然ノ理也、小民ハ義ヲ知ラス道ヲ守ル心モ無ケレハ情ヲ抑ヘ制スル事能ハス、一身ノ便利ノミヲ思フ者ナル故二人情ニ悖タル政ニハ決シテ從ハス、刑罰ノ畏ロシキ事ヲ知ラサルニハアラネトモ眼前ノ愁苦ニ堪カネテ法令ニ違ヒ制禁ヲ犯ス也、サレハ昔ヨリ人情ニ悖タル政ノ永久ニ行ハレタルハ有ラス、古ノ聖人ノ政ハ皆人情ニ協ヘタル者也、人情ハ古モ今モ異国モ吾国モ大ニ異ナル事ハ無シ、大

要ヲ言へハ好惡ノニツ也、大學ニ民ノ所レ好好レ之民ノ所レ惡惡レ之此之
謂レ民之父母トイヘルハ民ヲ愛スル道ヲ言ル也、民ノ好ム事ヲハ上ノ人モ
46

コレヲ好テ其事ヲ下ニ行ヒ民ノ惡ム事ヲハ上ノ人モコレヲ思テ下ノ為ニ
其事ヲ除ク、是父母ノ子ヲ愛スル心ナル故ニ左様ノ人ヲ民ノ父母ト云
ナリ、父母ノ子ヲ愛スルハ天性ノ誠ナレハ其子ノ為ヲ思ヒテハ善キ
上ニモ善キ様ニト願フ事深切ニシテ偽ナシ、君上ノ下ヲ愛スル事父
母ノ子ヲ愛スルカ如ク民ノ好惡ヲ知テ其情ニ悖ラサルヲ仁政ト
イフ也、人情ノ好惡ハ上ニ云ル物理ノ順逆ノ如クナル者也、少モ是ニ逆
ラヒテハ人心服従セス、其服従セサルニ及テハ天下ノ力ニテモコレヲ強ル
コトアタハス者也、サレハ經濟ニ心アラン人ハ上ニ云ル如ク時理勢ノ三ツヲ
知タル上ニ必是ヲ知コトヲ務ムヘキ也、然ルニ時理勢ノ三ツハ知リヤスク
47

人情ハ知リカタシ、其故ハ人情ハ常理ノ外ナル事有リ、タトヘハ細民ノ
賤シキ者ヲ俄ニ士トナシテ美服ヲ着セ公堂ノ上ニ坐セシメテ美
膳ヲ以コレヲ饗サハ大ニ困テ己カ家ニテ縊縷ヲ着テ蹲踞シテ
糲飯藜羹ヲ食フニハシカスト思フヘシ、美服美食ハ人ノ好ム所ナレトモ
身ノ習ハス事ヲナシテ心ヲ苦ムルハ人ノ厭フ事也、此等ノ人情常理ニ
テハ知リカタシ、必其人ノ身ニナリカハリテ察セサレハ其美情ヲ得ル事
無シ、凡人情ヲ知ル事ハ物理ヲ知ルヨリモ難シ、物理ハ善ク書ヲ読ミ
学問シタル者ハコレヲ知ル、人情ハ書ヲ讀ミ学問シタルハカリニテモ知ラ
レス、天下ノ人貴賤等ヲ異ニシテ其好惡苦樂一樣ナラサレハ尋常ノ
48

道理ヲ以テ外ヨリ遙ニ推察シタル分ニテハ中ラヌ事多シ、只善ク学
問シタル上ニ其品々ノ人ニ近ツキテ親ク其事ヲ見聞シテ一々ニ其人ノ
身ニナリカハリテ其隱微ノ處ヲ深ク察シ、其ナスワサト其言語トニ
意ヲ注テ精ク思惟スレハ其大要ヲ得ル也、サモナクテハ決シテ人
情ニ通スル事能ハス、士大夫世禄ノ家ニ生タル者ハ庶民ニ交ル事無キ
故ニ縱聰明ナル人モ庶民ノ情ヲ悟ラス、況ヤ天子王公九重ノ内ニ
オハシマシ高堂大殿ニ安坐シ玉ヒテ何トシテ下民ノ情事ヲ知シメ
サンヤ、是ニヨリテ古ノ明王ハ天下ヲ巡狩シ玉ヒテ太史ノ宦ニ命シテ
諸國ノ民間ノ歌詩ヲ採ラシメテ其詞ヲ叡覽シ玉ヒ樂師ニ歌ハ
49

シメテ其声ヲ聴玉フ、是諸國ノ風俗人情ヲ知シメサン為也、其大
史ノ採輯タル詩ヲ国風ノ時ト名ツケテ毛詩ノ中ニ在リ、今ノ詩經
是ナリ、吾国ニテモ古ハ民間ノ歌ヲ徵ア朝廷樂歌ニ用ラレシ事

有り、催馬楽是也、万葉集ノ中ニモ民間ノ歌トモ多ク入タリ、是国風ノ詩ニ比スヘキ者也、此事ノミニアラス古ノ聖帝明王ハ必輔佐ノ

臣ヲ用ヒタマフ、輔佐ノ臣ハ多クハ卑賤ヨリ出タル人也、帝堯ハ

虞舜ヲ挙テ摂政トナシ玉フ、虞舜ハ曆山ノ農夫也、堯ノ時

ノ名臣禹・稷・契ハ卑賤ノ人ニ非ス、皋陶・伯益・伯夷・工□（人偏十垂）・夔龍等ハ出身イカナル人ト云事詳ナラネトモ、意フニ卑賤ヨリ出タル人

50

ナルヘシ、夏ノ代ハ紀載具ナラス、殷ノ成陽ハ伊尹ヲ挙テ師範トシ玉フ、伊尹ハ有莘国ノ野人也、高宗ハ甘盤傳説ヲ挙テ師範トシ玉フ二人皆卑賤ノ人也、伝説ハ伝巖ニ隠レテ刑徒ニ雜リテ版築ノ賤キ事ヲナシ、一旦ニ挙テ相国トナシ玉ヘリ、周ノ文王武王ハ呂望ヲ挙テ大師トナシ玉フ、呂望ハ渭濱ノ漁翁也、成王ノ時周公旦天子ノ叔父ニテ三公ノ位ニ居テ摂政シ玉ヒシニ一飯ニ三タヒ餉ヲ吐キ一沐ニ三タヒ髪ヲ握テ一日ニ七十人ノ士ニ接見シ玉ヘリ、七十人ノ士ハ多分卑賤ノ人ナルヘシ、虞舜ヨリ以下伊尹伝説ノ如キ人々皆貧賤困窮ノ中ヨリ起リタル人ナル故二人情ニ能ク通シテ天下ヲ治ム

51

ル事常ノ上ニ在シ也、孟子ノ言二人之有「德慧術知」者恒存手疾疾トイヘト誠ニ然也、久シク民間ニ雜リ卑賤ニ屈テ備ニ艱難ヲ歴タル者ハ必人情ニ通スル故ニ書ヲ読タルハカリニテ得カタキ德慧術知モ自然ニ出来ル也、左様ノ人ヲ挙用テ師範トシ玉ヘハ天下ノ至尊ニテモ下民ノ情ヲ知シメス事難カラス、是君上ノ人情ヲ知シメス道也此道ヲ問テ別ニ隱微ナル術ヲ用テ民間ノ事情ヲ探求ルハ小智ノ為ニテ國家ヲ治ムル規模ニ非ス、凡古ヨリ輔佐ノ臣ナクシテ独智ヲ用玉ヘル人主ノ功業ヲ成就シタマヘルハ有ラス、學問アリテ古今ノ世変ニ達ン時ヲ知リ勢ヲ知リ人情ヲ知テ經濟ノ道ヲ明

52

メタル者ヲ卑賤ヨリ挙テ是ヲ輔佐トシテ治道ヲ論シ、政事ヲ議シテ不易ノ定法ヲ立タマハ、天下何ソ治メカタカラニヤ、明王ノ手ヲ拱テ太平ヲ致シ格ナル事ヲ後昆ニ垂玉フ道此一挙ニ在リ、是則政務ノ本也、經濟ハ古ヲ稽ヘ古ヲ師トスルヲ貴フ、尚書ニ唐虞稽古ト云ルハ堯舜ノ古ヲ稽玉ヒシコトヲ言ヘル也、堯舜既ニ古ヲ稽玉フ、況ヤ後ノ人古ヲ稽ヘスシテ可ナランヤ、又伝説ノ言ニ学ニ于古訓ニ有レ獲事不レ師レ古以克永レ世匪說攸聞トイヘリ、古ヲ稽テ今ノ宜キヲ制スレハ事ニ條理アリテ弊ヲ生セス、古ヲ稽ヘサレハ眼前ノ利害ニ眩テ後ノ慮ヲ忘ル、事有リ、古ヲ稽ヘ古ヲ師トストイヘハトテ

古ノ政ヲ悉今ノ世二行フヘシトイハアラス、古ノ政今ノ世二行ヒカタキ事モ多シ、然レトモ政ニハ大体トイフ者アリ、古ノ道ヲ本トセサレハ政ノ大体ヲ知ル事能ハス、大体ハ古モ今モ異国モ吾国モカハル事無キ故ニ必古ヲ師トスヘシトイフ也、譬ヘハ医ノ病ヲ治スルカ如シ、医ニ古方アリ、古方必シモ一々ニ今ノ病ニ的中スルニアラサレトモ、古方ニ依ラスシテ今ノ治万ヲ求レハ虚空ヲ捉ムカ如クニシテ手ヲ着ヘキ處ナシ、医ニ古方アルハ大匠ノ規矩アルカ如シ、円ヲナス者ハ規ニ依リ方ヲナス者ハ矩ニ依ル、工口（人偏十垂）・魯般モ法ヲ規矩ニ取ラサレハ方円ノ形ヲ成ス事能ハス、此義ハ孟子ノ語

ニ見ヘタリ、國家ヲ治ムル事是ニ少モカハル事無シ、古ノ道ヲ今ニ宜力

ラストトイフハ医ノ古方ヲ信セス大匠ノ規矩ヲ廢スルカ如シ、従心思ヲ労スルノミニテ功ノ成スコト能ハス、サレハトテ古ニ泥テ今ノ変ヲ知ラサルハ柱ニ膠シテ瑟ヲ調ルトイフ者也、又古ノ道ヲ其マヽニテ今ニ行ヘハ行ハル、事有ルヲ、世ヲ駭シ変ヲ生ゼン事ヲ懼テ敢テ行ハサルモ有リ是見識ナク力量ナキ故也、苟モ見識アリ力量アリテ理ニ達シ人情ニ通シ其位ニ居テ賞罰ノ權ヲ執ラハ無ニ無ニ行フヘシ、何ソ愚人ノ怪ミヲ顧テ狐疑センヤ、古ヨリ英雄豪傑ト称セラル、人ハ皆能ク是ヲ行ヘリ、君子ノ果斷明決ヲ尚フハケ様ノ處也、然レハ君子ノ徳アリ又英雄ノ氣概アル人ニ国政ヲハ任スヘキ者也、已上ハ経済大綱ヲ論ス故事

ノ條目ハ史記ノ八書・漢書ノ十志ヨリ歴代ノ志ニ詳ナルノミナラス其他モ経國ノ事ヲ紀録セル書多シ、吾国ニハ古ヨリ異國ノ如ク記載ノ詳ナル事ハ無ケレトモ少会ハ諸書ノ中ニ雜出シ、人ノ語リ伝フル事モ有テ其大較ヲハ知ルヘシ、政事ニ本末アリ、本ヲ立レハ末治メヤスシ、其本乱而本治者否矣ト大学ニ云リ、本ヲ立ルハ経済ノ先務也、今窃ニ愚見ヲ以テ古道ニ準擬シテ政務ノ要ヲ條陳スル事左ノ如シ

経済録卷第一終

56 (白紙)

経済録卷之二

礼楽

礼ハ万事ノ作法儀式ナリ、礼法礼儀トイフ是ナリ、樂ハ歌舞音楽ナリ、天下ヲ經綸スル道礼樂ヨリ先ナルハナシ、サレハ三代ノ明王天下ヲ取タマヒテハ必首ニ礼ヲ制シ樂ヲ作リタマフ、礼樂ニアラサレハ天下ヲ治ムルコトアタハサル

故ナリ、礼ニハ必樂アリ、樂ニハ必礼アリ、礼ト樂トハ相離レサル者ナリ、礼ハ嚴肅ナル者ナリ、樂ハ和順ナル者ナリ、礼ヲ以テハ上下ノ位ヲ定メ貴賤ノ等ヲ弁ヘ男女ノ別ヲ明ニシ父子兄弟ノ倫ヲ正クス、樂ヲ以テハ上下ノ交ヲ成シ君臣ノ情ヲ協ヘ賓主ノ好ヲ合セ神ト人トノ和ヲ導キ、モノイハスシテ人ノ心ヲ

58

感通セシムル者ハ礼樂ナリ、然ル故ニ是ヲ不言ノ教トイフ、周ノ代ノ末ヨリ礼樂壞シテ世ニ行ハレス、戦国ヲ經テ秦ノ始皇ノ時ニ至リテ礼樂遂ニ亡ヒヌ、漢ノ高祖ノ時叔孫通始テ朝儀ヲ作リシカハ高祖大ニ悦タマイテ我今日始テ天子ノ貴キコトヲ知ヌトノタマヘリ、其後礼樂ノ道稍々興テ一代ノ文物遂三百世ノ準式トナレリ、是ヨリ後ノ王者苟モ天下ニ臨テ業ヲ創ノ統ヲ垂レタマフホトニテハ礼樂ヲ制作シタマハストイフコトナシ、漢ヨリ以後ハ三代の礼樂ニ及ハストイヘトモ是ヲ廢シテ天下ヲ治ムルコトハ未コレアラス、吾國ノ古公家全盛ノ時ハ唐朝ノ礼樂ヲ習ハシテコレヲ朝廷ニ用ラレシ武家ノ世トナリテヨリ礼樂廢レテ用ラレス、室町家ノ

59

時曾我・小笠原等ノ家ニテ制セルシツケカタト云者ヲ礼トナシ、猿樂ト云者ヲ樂トナシテ朝廷ノ儀式ニコレヲ用ラル、今ノ世ニ至テモ猶然ナリ、公家ハ今衰微甚シケレトモ猶古来ノ礼樂ヲ用テ俗礼俗樂ヲ用ヒラレス

今ノ世ノ人公家ノ儀式ヲ觀テ情ナキ卑賤ノ身ニテモ感ヲ興サスト云事ナキハ礼樂アル故ナリ、仏法ナトハ世外ノ教ニテ人間ノ礼法ヲ離タル者ナレトモ事アリテ其法ヲ行フニハ必ソレ々ノ儀式アリ、種々ノ鳴物ヲ鳴シ、伽陀梵唄ヲ唱テ、儀式ハ礼ナリ鳴物ハ樂ナリ伽陀梵唄ハ歌ナリ、世ノ人僧ノ仏事ヲナスマ観テ感ヲ興サストイフコトナキハ是亦礼樂アル故ナリ、凡人ノ心ヲ感發セシムルコト礼樂ヨリ甚シキハナシ、民ヲ善ニ導クコト礼樂ヨリ近キハ

60

ナシ、言語ノ教ハ人ニ入コト浅ク、其及フトコロ狭クシテ功ヲ成スコト遲シ、礼樂ノ教ハ人ニ入コト深ク其及フトコロ広クシテ効ヲ得ルコト甚速ナリ、古ノ聖人モノイハスシテ万民ヲ教ヘ天下ノ心ヲ一致セシメタマヘルハ礼樂ノ道ナリ、世ニ一種ノ人アリテ礼樂ハ上古ノ道ナリ、今ノ世ハ礼樂ニテ治ムヘカラストイフハ治道ヲ知レハ者ニ非ス、時ニハ古今アレトモ人情物理ハ古今大ニ同シ、天地人民アラン限礼樂ヲ行ハレサル世モ国モ決シテ有ルマシキナリ、礼樂ヲ用ヒス

シテ法（令カ）会

ハカリニテ國家ヲ治ムルハ申不害・韓非・商鞅・李斯等力道ニテ當時速ニ其効ヲ取ル故ニ便利ナル様ニオモヘトモ永安ノ計ニ非ス、サレハ踵ヲ廻サスシテ事敗レテ乱亡ニ至ル往轍ヲ觀テ戒トスヘシ、已上礼樂ヲ合セテ論

61

○礼五礼アリ、五礼ハ吉凶軍賓嘉ナリ、吉礼トイフハ祭祀ノ礼ナリ、天地山川社稷宗廟ヲ祭ル儀式ナリ、凶礼トイフハ喪礼ナリ、死ヲ送ル儀式ナ

リ、軍礼トイフハ軍旅ノ礼ナリ、平時ハ国君四時ノ猶ニ是ヲ用フ事アリテ、兵ヲ起ス時ハ將ニ命シ師ヲ出シ征討戰伐シ捷書ヲ奏シ俘馘ヲ

献シ出ニ治兵シイルニ振族シ、飲至策勲スル等ノ儀式皆此軍礼ナリ、(旅力)

賓礼トイフハ賓主ノ礼ナリ、聘問朝覲ノ儀式ナリ、嘉礼トイフハ冠昏相見飲射燕亨等ノ礼ナリ、冠ハ冠礼ナリ、男子ノ元服スル儀式ナリ、昏ハ婚礼ナリ、婦ヲ娶リ女ヲ嫁スル儀式ナリ、相見ハ士大夫ノ相見スル儀式也

飲ハ鄉飲酒ノ礼ナリ、鄉人ニ酒ヲ飲シムル儀式也、射ハ射礼ナリ、射ル儀式也

62

燕ハ燕礼ナリ、鄉大夫ニ酒ヲ飲シムル儀式也、享ハ享礼ナリ、饗膳

饗心ノ事ナリ、人ニ物ヲフルマイモテナス儀式也、凡人間ノ万事ソレ々ニ儀式ナクテハ叶ハヌ物也、小事スラ猶然ナリ、況ヤ天下國家ノ重キ事ニ於テ何ソ

儀式ナカルヘキヤ、天下ノ事ハ此五礼三在テ遺ルコト無シ、凡礼ハ人情ニ協ヘ物理ニ順テ中ヲ制シタル者ナリ、古ノ聖人聰明エイ智ヲ以テ人情ニ通シ、物理ヲ

明メテ万事ノ作法儀式ヲ定メ置テ天下ノ民ト共ニコレヲ守タマフ、是則

中道ナレハ百世ノ末マテ弊ナキコト規矩準繩ノ如ク一定シテ易ラサル法ナル故ニ不易ノ常典トイフナリ、人情ニ協ヘ物理ニ順ヘトイフハ上ニイヘル如クノ五礼ハ人情ニ於テモ皆ナクテ叶ハヌ事トモ也、然レトモ

63

人情ニハ厚薄深淺アリ、物理ハ常ノ人ノ知リカタキ者ナレハ、兼テヨリ

其作法儀式ヲ定メ置カサレハ時ニ臨ミ事ニサシカヘリテ是ヲ議スルニ人々ノ心同カラサルコト面ノ異ナルカ如クシテ衆議一決シカタク、縱一決ストモ過不及アリテ中道ニ合ハサレハコレヲ行テ害アルコトヲ免レヌ、聖人ハ往古ヲ考ヘ未来ヲ知テ百世ノ後マテモ礙ナク弊ナク永々ニ行ハルヘキ様ヲ計テ定

法ヲ立タマヘル也、人心同カラストトイフハ、タトヘハ何ニテモ一事ヲ行フ上ニ就ア奢華ヲ好ム者アリ儉素ヲ好ム者アル類ナリ、先王ノ礼ニ遵ヘハ奢華モ

美麗ヲ致ス事ニ得ス、儉素ヲ好ム者モ質樸ヲ致スコトヲ得ス、是スナハチ中道也人情ノ厚薄深淺アリトイフハ、タトヘハ父母ノ喪ニ居ルニ三年ヲ過テモ哀

64

ステニ去ル者アリ、是情浅ク薄キナリ、先王ノ礼ニ遵ヘハ哀イマタ尽サル者モ三年ヲ限テ喪ヲ除キ、哀ステニ尽タル者モ必三年ヲ待テ喪ヲ

除ク、是スナハチ中道ナリ、凡人ハ自己ノ便利ヲ求ル者ナレハ王者兼テヨリ礼法ヲ定メ置カサレハ天下ノ人皆己々カ便利ニ任テ事ヲ行フ故ニ

天下平均ナラス、自然ニ富ル者ハ貧キ者ヲ外ニシ、貴キ者ハ賤キ者ニ驕リ、強

キ者ハ弱キ者ヲ虐ル様ニナリテ、ソレヨリ争奪ノ事起リテ、卒ニハ

乱ノ階トナルナリ、礼ハ辞讓ヲ本トスル故ニ礼行ハルレハ争奪ノ事止ム

ナリ、凡事ニハヨキホトヽイフコト有リ、是スナハチ過不及ナキ中ナリ、此ヨキ

ホトヽイフコト人々ノ心不同ナリ、先王ノ礼ヲ以テ規矩トセサレハ真ノ中ニ

65

当ラス、又人ノ性ニ様々アリ、ヨキホトヽトイフ處ヲイツモ過越ル者アリ

ヨキホトヽイフ處マテイツモユキトヽカヌ者アリ、是モ礼法ニ遵ヘハ

過越ル性ナル者モ抑テヨキホトニ止マリ、及ハサル者モ勉テヨキホトマテ

至ルナリ、サレハ中道トイフハ今日人ノ自己ノ心ニテ定ムルコトニハ非ス、先王ノ

礼ヲ以テ中トルナリ、今ノ学者宋儒ノ説ニ依テ自己ノ心ニテ中ヲ定ム

トイフハ大ナル誤テ己カ身ヲ聖人トオモヘル大ナル罪ナリ、又上ヨリ法(会)

ヲ出シテ此事ヲハカリノ如クセヨト命スレハ、姑クコレヲ守レトモ民ノ身ニ少ニ

テモ便利ナラヌコト有レハ窃ニ其法ヲ用ヒス、礼ハ教ナル故ニ此事ハ

斯行フ物ゾト兼テ教ツレハ民ノ心ニサテハカク行ハデハ叶ハヌコトヽ思イテ

66

何ノ義トモ知ラスシテ教ノマヽ二行フナリ、今ノ世民間ニモ士大夫ノ間ニモ

スシナキ俗礼ドモ数多アルヲ愚昧ナル婦女ニテモ堅ク慎ミ守リ行フハ

教ノ然ラシムルナリ、真ノ礼トイフ者モ是ニ同シ、恭敬儉約ノ類ヲ行フコ

トモ礼儀ヲ定メ置スシテ法(会)ヲ嚴ニスルノミデハ民従ヒカタシ、凡礼ハ

君ト民ト共ニ守ル者也、縱礼ヲ制シテモ上ノ人ヨリコレヲ行ハサレハ民亦

従ハス、民ト共ニ守リ民ト共ニ行フヲ礼ノ本意トスルナリ、近世吾国ニ古礼

廢レテ曾我・小笠原等ノ家ニ躾形トイフ者ヲ用フ、是甚シキ俗礼

ニテ朝廷ノ上ニ用ヘキ者ニ非ス、凡世ノ盛衰ハ民ノ風俗ニ係ルナリ、風俗隆ナレハ国盛ナリ、風俗汚レハ国衰フ、風俗ヲ保ツ者ハ礼ナリ、礼ハ淫ヲ防キ

67

慾ヲ禁スル者ナリ、風俗ノ敗ルトハ民ノ慾ニ任淫スルヨリ始ルナリ、國ニ礼アレハ

民慾ヲ恣ニスル事ヲ得サル故ニ風俗其本ヲ失ハス、淫靡ニ流ルヽ事無シ

風俗正ケレハ國家繁昌也、是礼ハ國家ノ守ナリ、何ソコレヲ貴ハサランヤ

礼ヲ制スルハ聖人ノ事ナレトモ礼ハ義ヲ以起ス者也、苟モ德アリ位アリテ古ヲ

稽アコレヲ制センニ何ノ不可ナル事力有ン、孔子ノ言ニ礼也者義之実也

協諸義而協則礼雖先王來之有不可義起也トノタマヘリ、誠二人情ニ通シ

物理ヲ明ス礼義ノ原ヲ究テ今日ノ事務ヲ知ラハ、タトイ古ニ無キ事モ

義ヲ以テ起スヘシ、況ヤ今日ノ人事古ニ無キ事有ラサルヲヤ、又一人ノ上ニテ言ヘハ、礼ハ身ノ固メナリ、衣冠ヲ整ヘ束帶シテ動止ニ礼ヲ慎メハ、肌膚緊リ

筋骨固マリテ心氣モ正クナル故ニ風寒暑湿ノ外邪モ犯ス事アタハス
 身体常ニ安寧ナリ、人ト交ルニモ恭敬辭讓ヲ先トスル故ニ悖逆
 争鬭ノ事モ起ラス人ニ厭ハルゝ事無シ、一日モ札ヲ廃スレハ怠惰放肆シテ
 肌膚緩マリ筋骨慢ミ心氣モ治マラサル故ニ外邪モ犯シヤスクシテ疾ヲ
 生スルナリ、人ト交ハルニモ恭敬辭讓ナキニヨリテ人ノ心ニ悖テ必禍ヲ招
 クナリ、然レハ礼ハ護國護身ノ神符トイフヘキ者ナリ、是ヲ外ニシテ別ニ
 国家ヲ治ムル術アリトイフハ皆邪説ニシテ聖人ノ道ニ非ス、決シテ信
 用スヘカラス○冠礼ハ男子ノ初テ冠ヲ着ル礼ナリ、冠ヲ元服トイフ
 元ハ首ナリ、服ハキモノナリ、首ノキモノナル故ニ元服トイフナリ、礼記ニ

男子トモニ冠而字ツクトアリ、古ハ男子年二十歳ニナリテ初テ冠ヲ
 着ル、十九歳マテハ童子ナリ、冠シテ後ヲ成人トイフ、成就スル人トイフ意
 ナリ、然レトモ二十歳ヨリ内ニテモ婦ヲ娶ル事有リ、其時ニハ二十歳ヲ待スシテ
 冠スルハ童形ニテ婦ヲ娶ルマシケレハナリ、冠セサル前ハ童子ナリ、冠スレハ
 丈夫トナリ人ノ父トナル道ナリ、然ル故ニ古人ハ冠礼ヲ重ンセシナリ、冠シテ
 字ツクトトイフハ人ノ尊称ナリ、必徳ヲ表スル故ニコレヲ表徳号トイフ

名ハ生レタル時父ノツケタル名ヲ名トイフ、人ニ対シテ自己ノ事ヲイフニハ卑賤
 ノ人ニ向テモ必名ヲナノル也、字ハ尊称ナル故二人ノ方ヨリ呼ニハ必字ヲ
 称ス、人ヲ呼フニ其人ノ名ヲイフハ不敬ナリ、父ヨリ子ヲ呼、君ヨリ臣ヲ呼ヒ

師ヨリ弟子ヲ呼ニ名ヲイフ、其外ハ皆字ヲ称スル也、然レハ字ハ丈夫ニナリ
 テノ尊称ナル故ニ必人ヨリ与ルナリ、冠礼ニハ必冠賓トイフ者アリ、此方ニ
 イフ烏帽子親ナリ、冠賓ハ親族ノ中又ハ郷党ノ父老ノ中ニテ徳行
 名望アル人ヲ選テ請スルナリ、冠ヲ着セ教誡ノ辞ヲ述ヘ字ヲ命スル
 等ノ事皆冠賓コレヲ行フ、古ノ冠礼ハ儀礼ノ士冠礼ニ見ヘタリ、後世ノ
 礼ハ後世ノ書ニ載タリ、吾国ニハ冠礼トテ定ツタル儀式ハ無レトモ元服トイフ
 事有ルハ冠礼ノ意ナリ、初冠トイフハ初テ冠ヲ着ルヲイフ、古ハ庶人
 ニテモ烏帽子ヲ着ストトイフ事ナキ故ニ元服スル時必然ルヘキ人ヲ請シテ
 賓トスルヲ俗ニ烏帽子親トイフ、是中華ノ古礼ニ合ヘリ、只此方ニハ

字ツク事無クシテ童形ノ時ハ小名ヲ称シ、元服ノ時名ヲツク、是倭俗謬
 ナク、名ヲハ今ノ俗ニコレヲ名乗トイフ、自己ヨリナノル者ナル故ニナノリト
 イフ也、名乗トイフニテハ尊称ニアラサル事ヲ知ヘシ、又今ノ世ニハ元服ト
 テ冠ヲ着、烏帽子ヲ着ル事ハ公家ニノミ有テ武家ニハ如何ナル
 貴人ニモ烏帽子ヲ着ル事絶テナケレハ、只額髪ヲソリ落スバカリヲ

元服トイフ、是元服トイフ名目ニ合ハス、烏帽子親トイフ者モ虚名也
貴人ヨリカクアレハ士庶人ハ殊ニ其作法モ簡略也、冠礼ハ人ノ人ト成ル
初ナル故ニ古ノ聖人コレヲ重シタマヘリ、日本ニテ必中華ノ如クノ
冠礼ヲ行フヘキニハアラネトモ、古礼ノ意ヲ得テ其礼儀ヲ正クシテ定式

72

ヲ立置レハ風化ノ補ナルヘシ、女子ハ十五歳ニナリテ笄トイフ物ヲ首ニ着
ケル、男子ノ冠スルト同シ、礼記ニ女子許嫁笄而字ト云リ、又内則ニ十有
五年而笄ト云リ、許嫁トハ婚ヲ約スルトイフ、此方ノ俗ニイフ縁組ナ
リ、大抵十五歳ニテ笄スル事定マレル礼ナレトモ十五ヨリ内ニテモ許嫁
スレハ笄スルナリ、笄スレハ字ツクナリ、女子ハ常ニ字ト姓トヲ称スル
故ニ笄シテハ字ヲツクナリ、吾国ニハ笄スル礼ハ無クテ、眉毛ヲソリ落
シ歯ヲ黒クスル事有リ、是皆夷狄ノ風俗ナリ、君冠礼ヲ制セラレハ
女子ノ笄礼ヲモ制セラルヘキナリ、女子ノ笄シテ字ツクハ人ノ母トナルヘキ
初ナル故ニ是又重キ事ナリ○夫婦ハ人倫ノ始ナリ、昏礼ハ夫婦ノ

73

ノ道ヲ正シクスル礼ナル故ニ聖人殊ニコレヲ重シタマヘリ、中華ノ古礼ニハ
納采納吉納徵期親迎トテ六ツノ儀式アリ、是ヲ六礼トイフ、詳
ナル事ハ儀礼ノ土昏礼ニ見ヘタリ、今此方ノ昏礼ハ極タル俗礼ナレ
トモ、其本ハ異國ノ礼ヨリ来レル事トモニテ、士大夫以上ハイフニ及ハス
庶人モ少ハ其儀式ヲ行フヘキ事トオモヘリ、諸ノ人事ノ中ニ此事ハカリハ
昏礼トイフ名目ヲ失ハス、人々其法ヲ守ル心モ有レハ、姑俗礼ヲ用テ
事ヲ行フモ便利ナルヘシ、今茲ニ錄セス○喪礼ハ死ヲ送り人ノ終ヲ
慎ム礼ナリ、死ヲ送ルニハ死シテヨリ葬ルマテ段々ノ儀式作法アリ、葬ハ藏
ナリト积シ、屍骸ヲ藏ルヲ葬トイフ、火葬トイフ事ハ仏者ノ所為ニテ

74

天竺ノ法ナリ、天竺ハ戎狄ナル故ニ中華ノ如クノ喪礼ハ無クシテ父母
死スレハ死骸ヲ焚クナリ、中華ニハ古ヨリ火葬ハ無カリシニ、仏法行ハレテ
ヨリ彼法ヲ信スル者間ニ火葬スル事有リ、サレトモ民間ニノミ此事アリテ
士大夫以上ニハ無キ事ナリ、宋ノ太祖天下ヲ取タマヒテ首ニ詔シテ民ノ火
葬ヲ禁セラレシハ誠ニ善政ナリト後ノ君子コレヲ美タリ、吾国モ古ノ
葬ハ棺槨ヲ具テ甚厚キ事ナリシカ、中古以来天子トイヘトモ火葬
スル事有リ、今ノ世ニモ士民ハイフニ及ハス列侯貴人ノ中ニ火葬ヲ悦ブ
人アリ、風俗ノ敗レ悲ムニ余アリ、聖人ノ道ハ死シタル父母ヲ死シタリト
思ハヌヲ孝トス、死骸斂棺槨ニ入レ土三埋ム、イツマテモ朽サル様ニ

75

計ル、親ヲ死シタリト思ハヌ故ナリ、親ヲ死シタリトスル至極ハ屍

骸ヲ焚ヨリ甚シキハナシ、火葬ヲ善シトスル風俗ナル故ニ凡

葬ヲ営ム者厚クスルユヘヲ知ラス、富貴ノ家モ貧賤ナル者ニ異ナル事無シ、喪ニハ哀ヲ主トスル故ニ中華ニテハ人死スレハ其

妻子ハイフニ及ハス諸父兄弟親戚 (明カ) 友相聚リテ哭泣トテ声ヲ

揚テ啼呼ヒ、擗踊トテ、婦女心ヲ拊チ男子ハ踊ルナリ、此方ニテハ哀マ

サルヲ賢シト譽メ、哀ム者ヲハ愚ナリト笑フ、是如何ナル心リヤ、又喪

服トイフハ喪ニ居ル服ノキモノナリ、服ニ五等アリ、斬衰・斎衰・大功・

小功・總麻ナリ、五等ノ服ソレ々ニ制法アリ、斬衰ハ三年、斎ハ一年、大功

76

ハ九ヶ月、小功ハ五ヶ月、總麻ハ三ヶ月ナリ、父母ニハ斬衰三年、其外ハ斎衰以下親疎ニ隨テ輕重アリ、上ハ高祖父母、下ハ玄孫、横ハ族兄弟

トテ、俗ニイフイマイトコトイフ者マテ (五カ) 五ニ喪服ヲ着テ哀戚ノ誠ヲ顯

ス、是ニ因テ平日モ親族ノ親モ甚深シ、又父母ノ喪ニハ死シタル日ヨリ二日絶食ス、第四日始テ粥ヲ食ス、既ニ葬テ後ニ初虞・再虞・三虞トテ三

度祭ル、是ヲ虞祭トイフ、其後ニ又祭ルヲ卒哭トイフ、卒哭ハ

三ヶ月ニテ行フ、卒哭ノ後ヨリ蔬食水飲ス、菜菓ヲ食ハス、蔬食

ハ麤飯ナリ、水飲トハ湯水ヲ飲ハカリニテ鹽味ヲ食ハサルナリ、菜菓ヲ食ハストハ、菜ハ野菜ナリ、菓ハ菓子ナリ、小祥ノ後ヨリ菜菓ヲ

77

食フ、小祥トハ明年ノ其日也、俗ニイフ一周忌ナリ、又翌年ノ其日ヲ大祥忌トイフ、大祥ヨリ一月ヲ隔テ死シタル月ヨリ二十七ヶ月ニ当ル時

又祭ルヲ禫祭トイフ、此祭ヲ終テ後始テ酒ヲ飲ミ肉ヲ食フ、又

父母ノ喪ニハ常ノ居所ヲ離テ廬ニ居ルヲ喪次トイフ、喪次ハ喪

ノヤトリナリ、廬ハ此方ニイフ小屋ナリ、中門ノ外ニ牆ニ倚カケテカタ

ヒサシトイフ者ニ作ル、故ニコレヲ倚廬トイフ、死シタル時ヨリ卒哭ノ前ハ

苦ニ寝子塊ヲ枕ニス、苦ニ寝ルトハ新薦ヲ敷テ寝ルナリ、塊ハ土ノカタマリナリ、卒哭シテ後席ニ寝子木ヲ枕ニス、三年ノ内ニハ斬衰服ヲ着テ

倚廬ニ居ル、禫祭シテ後酒ヲ飲ミ肉ヲ食ヒ、常ノ寝所ニ復ル、其後

78

漸々ニ音楽ヲモ作ス、是喪礼ノ大略也、斎衰ヨリ以下ハ段々ニ軽シ

具ナル事ハ礼経ニ見ヘタリ、中華ノ喪礼ハカクノ如ク厚ク重ナリ、世ノ

末ト云ヘトモ今ニ至ルマテコレヲ廢セス、父母ノ喪ニ遇ヘハ宦人モ宦ヲ解テ

家ニ帰リ三年 (過力) 遇ルマテ出ス、若君ヨリ其人ヲ使ハスシテ叶ハサル事

アレハ別ノ義ノ詔勅ヲ以テ強テ召出サル、ヲ奪情起復トイフ

コレトテモ志ヲ守リ私情伸テ起復ノ命ニ從ハサル人アレハ古今其孝ヲ称シテ美事トル故ニ起復ノ命ニ応スルヲハ遺恨トル也、庶民ハイフニ及ハス賤キ奴婢ノ輩マテモ必服ヲ着テ三年ノ喪ヲ遂ル事天下一統ナリ、若父母ノ喪ヲ匿シテ哭泣セサル者ヲハ一年ノ徒刑ニ行フ

79

若三年ノ喪ヲ終スシテ早ク服ヲ釈テ吉服ニ改メ喪ヲ忘テ酒宴

觀樂シ音樂ヲナス者ハ杖八十ノ刑ナリ、其外モ喪ニ居ル事礼制ノ如クナラス或ハ婚姻ヲ作シ吉事ヲ行フ者ハ律ニ於テ皆刑アリ、聖人ノ礼ヲ制シタマヘル、其品多キ中ニ喪礼ヨリ重キハナシ、是ニヨリ古來歴代ノ帝王皆是ヲ重ンシタマヘリ、吾國ニハ古ヨリ五等ノ服制ナキ故ニ親戚ノ親ミ甚薄シ、サレトモ古ハ一種ノ喪服アリテ、フチコロモトイフ者ヲ着タリ、古哥ニカキリアレハケヌキステツフチコロモハテナキモノハ涙ナリケリトヨメルハ、喪服ヲ脱テ吉服ニナリタル時ノ事ナリ、イツノホトヨリカ是モ廢シテ今ノ世ニハ服トイフ名目ハカリ遺テ服ヲハ着ス、古ハ喪

80

次アリテ筆リ居ケル故ニ喪次ヲモヤイフ、モヤハ喪屋ナリ、古歌ニアツマヤノモヤノツマトニイタレトモスカタナケレハ問フ人モ無シトヨメル、是其證ナリ、今ハ只家ノ内ニ筆リ居テ出サルハカリヲ喪トス、ソレモ其数甚少ク九族ノ内ニモ服ナキ者多シ、是皆衰乱ノ世ノ遺風ニテ太間(ママ)ノ政ナリ、又喪ニハ必僧ニ憑テ仏事ヲ行フ事世俗ノ通礼トナリテ、齋食ヲ設ケ布施ヲ行ヒ誦経念佛ヲ作善ト称シテ、自己ニハ神靈ヲ祭ラス、縱ヒ薄膳ヲ供スル者モ酒肉ヲ用ヒス、死シケル時僧ノ手ニカヘリテ髪ヲ剃ラレ戒名ヲツケラレテヨリ其子孫タル者モ只管仏事ヲ行テ親ノ後世菩提ヲ祈ルノミニ、是子孫トシテ其親ヲ罪人ニスル意ナリ、此事庶民ニハ便利トモイフ

81

士太夫ニハ決シテ有ルマシキ事ナリ、況ヤ国君ナトノ用ヘキ事ニ非ス然レトモ近世ハ何トナク國家ノ常典ノ如クニ成テ、志アル者モコレヲ変スル事能ハス、若干人ニ一人モ喪ヲ治テ礼ヲ行フ者アレハ見ル者モ聞者モ驚キ怪ミテ国禁ヲ犯セル者ノ様ニオモイテ厭ヒ惡ム、故ニ如何ナル仁人孝子モ喪礼ヲハ遂行フ事能ハス、悲ムヘキ事ナリ、是國ニ礼ナキ故也、中華ニテハ縱ヒ仏法ヲ信スル者モ屍骸ヲ斂メ棺槨ヲ具フル事ハ礼制ノ如クニシテ寺院ノ内ニ葬ラス城郭ノ外ノ

山原空閑ノ地ニ葬埋ス、後ニ仏事ヲ行ハントヲモフ者ハ僧ヲ請テ
道場ヲ設テ追薦ヲナス、是ヲ超度トイフ、吾国ニモ京都ニハ鳥部
82

船丘ノ二山、蓮臺野ノ如キ昔ヨリノ葬地アリ、諸侯ノ國ニモ多クハ
一国ノ葬地ヲ定置カル、國郡ニ遠キ在処ニハ必空閑ノ地ヲ一郷ノ葬地ニ
定置テ是ヲ三昧トイフ、是古風ノ遺レルナリ、唯東都ニノミ定マレル
葬地ナクシテ小キ寺院ノ内ニ多クノ人ヲ葬ル故ニ力ノアル者モ礼法ノ如
クニ葬埋スル事ヲ得ス、是大欠事ナリ、今ノ風俗ニテ中華ノ喪礼ヲ
一々ニ行ハン事ハ容易ナラネトモ、喪ハ人ノ子孫タル者ノ終ヲ慎ム重事
ニテ人倫ノ綱紀教化ノ本ナレハ、新ヲ以テコレヲ興シテ古ノ復サン事アラ
マホシキ者ナリ、吾国ニ喪礼ナクシテ死ヲ送ル儀式極テ麤略ナル故ニ
中華ノ人ノ喪ニ居哀戚甚シキ事ヲ聞テハ詐ヲ行フトオモヘリ

83

人情ハ異国モ吾国モカハルル事無シ、事ヲ儀式ノ礼法ノ如ニスレハ自然ニ
其誠アリテ哀戚モ深クナル、是自然ノ道理ナリ、中華ノ人何ヲ
詐ヲ行ハンヤ、昔膝ノ文公喪礼ヲ行ハレシカハ四方ヨリ来觀ケル者
皆感悅セシ事孟子ニ見ヘタリ、礼ノ人ヲ感セシムル事凡慮ノ外ナリ

今タトヒ中華ノ礼ノ如クナラストモ且吾国ノ古風ノ如ニモアラハ、天下ノ
大慶トナルヘシ○祭礼ハ天神地祇人鬼ヲ祭ル儀式ナリ、天地山川
社稷ヲ祭ルハ天子諸侯ノ事ナリ、父母先祖ヲ祭ルハ天子ヨリ庶人
マテ一同ナリ、論語ニ追遠トアルハ父母先祖ヲ祭ルワイフナリ、宗廟ト
イフハ父母先祖ノ神主ヲ藏メ置ク宮ナリ、神主ハ先祖ノ正体ナリ

84

此方ノ位牌ノ如クナル者ニテ位牌ニハ非ス、廟ノ字倭語ニシヤト読ム、今
此方ノ俗ニタマヤトイフ者コレニ近シ、俗ニ墓所ヲ廟トイフハ大ナル誤
ナリ、天子ハ七廟ヲ立ツ、父ヨリ上六世ノ廟ニ太祖ノ廟ヲ并セテ七ツ
ナリ、諸侯ハ五廟ヲ立、父ヨリ上高祖父マテ四世ノ廟ニ太祖ノ廟ヲ
并セテ五ツナリ、大夫ハ三廟ヲ立ツ、曾祖父マテナリ、天子ノ士ハ一廟ヲ立
ツ、父ノ廟ハカリナリ、諸侯ノ士ト庶人トハ廟ヲ立テス、家ノ内ニテ祭ル也
天子諸侯ハ月祭トテ毎月祭タマフ、大夫以下ハ時祭トテ春夏
秋冬ノ四時ノ仲月ニ祭ル、別ニ忌日ノ祭アリ、忌日トハ死シタル日ヲイ
フ、歳ニ一日ナリ、倭俗毎月ノ其日ヲ忌日トイフハ誤ナリ、死タル翌年ノ其

85

日ヲ大祥忌トイフ、大祥マテハ喪ノ内ナリ、第四年ヨリ以後ハ忌日ヲハ君
子終身之喪トイフ故ニ祭ル、儀式モ喪ノ内ノ小祥大祥等ノ祭ノ如シ
忌日ノ外ハ皆吉祭ナル故ニ外ノ神ヲ祭ル如ク同然ナリ、札記ニ天祭也

者必夫婦親之ト云リ、凡父母先祖ヲ祭ルニハ天子モ后ト偕ニ事ヲ行ヒタマフ、諸侯以下ハ勿論ナリ、前二日ヨリ斎戒沐浴シテ居處ヲ淨メ衣服ヲ改メ酒肉菓菜ヲ食ハス、身モ心モ清潔ナル

様ニ慎ムナリ、当日ニ早晨ヨリ祭服ヲ着テ數多ノ有司執事

ノ人ヲ從ヘテ廟ニ入テ牲ヲ殺テ祭ル、牲ナキヲハ薦トイヒテ祭トイハス、天子諸侯ノ祭ニハ必音楽アリ、大夫以下ハ樂ヲ用ヒス、又墓

86

祭トテ墓ヲマツル礼アリ、墓所ノ土地神ヲ祭ル礼アリ、是皆先祖ヲ崇メ孝敬ヲ尽ス道ナリ、凡人ハ皆先祖ニ本ツキテ、今日ノ此身ハ皆先祖ヨリ出タル者ナル故ニ君子ハ必先祖ノ祭ヲ慎ムナリ、サレハ人君ハ國家ノ政事ヲハ聊モ我意ニ任セラルゝ事無クシテ一々ニ宗廟ニ告タマヒ祖宗ノ命ヲ受テ行ヒタマフ、故ニ古ノ人君ヲ後世ヨリ觀ミレハ只鬼神ニ事フル巫祝ノ如クナル者ナリ、吾国ハ本来鬼神ヲ信スル風俗ニテ士大夫以上ハ先祖ヲ崇メ父母ヲ敬フ事ヲモ知レトモ祭祀ノ礼世ニ行ハレサル故ニ父母先祖ノ祭ルスヘヲ知ラス、父母死シテ後ハ歳時ニ祭ル事モ無ク、小祥大祥ヲ過テ後ハ七年・十三年・十七年

87

二十一年・二十五年・三十三年・五十年・百年ニ一タヒ忌日ヲ祭ルヲ年忌トイフ、コレモ己力家ニテハ祭ラス、一向ニ僧ニ委テ仏事ヲ作テ後世菩提ヲ祈ルヲ孝トヲモヘリ、大夫以上有祿ノ家ニモ宗廟モ無ク祠堂モ無ケレハ神主ヲモ立テス、自己ニ祭ラサレハ斎戒スル事モ無シ、年忌トテ寺詣テ或ハ僧ヲ家ニ請シテハ追薦ニ

託テ親戚(朋力)明友ヲ集テ酒宴觀樂スルノミニテ、少モ仁孝ノ

思ヒヲ起ス者ハ無シ、是歎カシキ事ナラスヤ、然レトモ海内一固ニ此風俗ナレハ千人ニ一人モ古ノ道ヲ好テ父母先祖ヲ祭ル者アレトモ人ノ恠マン事ヲ恐テ隱密ニ事ヲ行フナリ、其上ニモ国法ナレハ

88

己コトヲ得ス、僧ニ布施シテ仏事ヲ行ハシムルハ本意ナキ事ナリ、許多ノ米穀金錢ヲ費シテ道徳モ無キ放逸無慙ノ僧徒ヲ集テ仏事ヲ行ハシメテ何ノ功徳ヲ成ンヤ、是貧賤ナル小民ニハ便利ナル事モ有リ、士大夫以上有祿ノ家増テ國君ナトノ用ヘキ事ニ非ス、聖人ノ道ニ本ツキテ古今ノ礼ヲ斟酌シテ時宜ニ隨テ祭礼ヲ行ハヽ、費ノ用少クシテ孝敬ノ道ヲ尽シツヘシ、久シク世ニ絶テ無カリツル礼儀ヲ俄ニ興サハ、人々驚キ怪ミテ始ハ不便利ナル様ニ思フヘケレトモ恭敬ノ人ヲ化スル事妙ナレハ見聞スルニ隨テ漸々ニ悦服スヘキ事必定ナリ

サモアラハ正シク國家長久ノ道ナリ、曾子ノ言ニ、慎終追遠民德帰

89

厚トイヘリ、慎終追遠トイフハ喪祭ノ一ツナリ、喪祭ノ礼行ハルレハ
民ノ徳厚ケレハ風俗日々隆盛ナリ、風俗隆盛ナレハ災害生セス禍乱
作ラス萬祥降テ国家長久ナリ、已上冠昏喪祭コレヲ四大礼ト
イフ、天子ヨリ庶人ニ至マテ闕コト能ハサル礼ナリ〇四相見礼トイフ
ハ士大夫ノ中ニテ互ヒ相見シ、又ハ君ニ見ユル儀式ナリ、士ト士ト相見
シ、士ト大夫ト相見シ、大夫ト大夫ト相見スル、爵位ノ高下ニ随テ
其儀式不同ナリ、君ニ見ユルモ亦然カリ、凡初テ人見ユルニハ必
贊アリ、贊ハ今ノ俗ニイフ進物ナリ、贊ノ品モ人ノ品ニ随テ輕
重アリ、ケ様ノ事ハ礼ノ中ニテハ輕キ事ナレトモ上ヨリ兼テ其法式

90

ヲ定メ置サレハ下ノ人己々力心ニ任テ事ヲ行フ故ニ過不及アリテ
平均ナラス、争競モ起リ奢侈モ始マリテ政ノ害トナル故ニ昔ノ先
王此礼ヲ立タマヘリ〇鄉飲酒礼トイフハ鄉党ノ人ニ酒飲スル儀
式ナリ、古ハ大夫ノ位アル者一郷ヲ治ムルヲ郷大夫トイフ、此方ノ目
代ナトイフ者ノ如シ、三年ニ一タヒ一郷ノ人ヲ集テ酒宴ヲナス、是ヲ鄉飲
酒トイフ、郷大夫ナル者主人トナリテ其郷ノ父老ヲ賓客トス、父
老ノ中ニテ一人ノ宿老ノ礼儀ヲ習ヒ知レル者ヲ賓トス、賓トイフハ
上客ナリ、其余ヲ衆賓トス、衆賓ハ俗ニイフ相伴ナリ、郷党ニハ
歯ヲ尚フ故ニ年ノ老少ヲ以テ座ノ次第ヲ定ム、一日モ先ニ生レタル者ヲ

91

上ニ居クナリ、酒宴ノ時樂人參テ詩ヲ歌ヒ樂ヲ奏ス、酒宴トイ
ヘハトテ酒ヲ強テ飲スルニハ非ス、始終只揖讓進退ヲ要トス、儀式
甚ムツカシキ事ナリ、此礼ノ本大意ハ長幼ノ節ヲ明ニシ賓主ノ
礼ヲ習ハサンカ為ナリ、此礼行ハルレハ人々老テ養ヒ長ヲ敬フ
コトヲ知テ自然ニ孝悌ノ道ニ向フナリ、先王ノ民ニ孝悌ヲ教タマフ
事ハ言語弁説ヲ以テ教ヘスシテ礼ヲ以テ孝悌ノ事ヲサシテ視セ
タマフ故ニ是ヲ見聞スル者感悦セストイフコトナシ、是スナハチ不言
ノ教ナリ、凡民ハ愚ナル者ニテ君上ノ教ナケレハ孝悌ノ道ヲ知ラス
孝悌ノ道ヲ知ラサルニヨリテ子弟ノ少キ者父兄ノイフ事ヲ聞カス

92

教訓ニモ從ハス、賤キハ貴キヲ犯シ、下ナル者ハ上ノ人ノ蔑ニスル故ニ争
奪等ノ種々ノ悪事起リ、獄詔ニ繁クナリ、乱ノ本トナルナリ、孝悌ノ

道ヲ知レハ一家ノ内ニテ父兄ニ隨順スルノミナラス、他人ノ長(老カ)考ヲモ父

兄ノ如ク敬フ故ニ郷党ノ内和順シテ違逆ノ事出来ラス、是國家

治安ノ本ナリ、其故ハ、君ハ舟ノ如ク民ハ水ノ如シ、水平ナレハ舟穩ナリ、民
静ナレハ君安シ、水ニ風波アレハ必舟ヲ覆ス、民騒動スレハ必君ノ患

トナル、古来一轍ナリ、然レハ民ニ孝悌ヲ教ルハ國ヲ治ムル要務ナラ

スヤ、孟子ノ言ニ、堯舜之道孝悌而已矣トイヘルハ是ナリ、孔子ノ言

三、吾觀於鄉而知王道之易々也トノタマヒシハ、孔子鄉飲酒ヲ觀タ

93

マヒテ王道ノ易キ事ヲ知タマヘルトナリ、又古ハ郷党ノ中ヨリ賢者能者ヲ見出シテ君ニ獻ス、是ヲ鄉貢トイフ、是郷大夫ノ職分

ナリ、然ルニ賢者能者ヲ見出ス事ハ郷射礼ニテ試ルナリ

既ニ試テ君ニ薦タルヲ貢士トイフ、貢士ヲ郷飲酒ノ賓トシテ弥其人ノ礼貌容儀ヲミルナリ、人ノ才ヲ貴フ意ナリ、然レハ郷飲酒ハ輕

キ事ニ非ス、誠ニ國ノ大礼ナリ、冠昏喪祭ニ郷飲酒士相見ヲ加テ

是ヲ六礼トイフ、天下ニ無クテ叶ハヌ礼ナレハナリ、周ノ代衰テヨリ後ハ郷飲酒廢シテ行ハレス、後世ニ至テ古ニ志アル者ハ往々私ニコレヲ行ヘリ、吾国ニハ元來此礼ナケレハ修復スヘキ様モナシ、然レトモ古ヲ

94

好ム人アリテ斯ニ制シテ行ハレン、何ノ不可ナル事カ有シ、古礼意ヲ得テ万分ノ一モ似タル事有ラハ治教ノ小補ナルヘシ○郷射礼トイフハ一郷

ノ人ヲ集テ礼射ヲナス儀式ナリ、古ハ民家一万二千五百ヲ郷トイビ

二千五百ヲ州トイフ、一州ヲ治ムル者ヲ州長トイフ、州ノ学校ヲ州序トイフ、一州ノ學問所ナリ、州長毎歲春秋二度ニ一州ノ民ヲ州序ニ

会シテ礼射ヲナシムルヲ郷射トイフ、射ハ、ユミイルナリ、射ニ礼射武射ノニツ有リ、武射ハ力ヲ主トシ、礼射ハ礼ヲ主トス、揖讓進退ノ容儀

ヲ觀テ其人ノ德行ヲ知ン為ナリ、州序ニテ行礼ナレトモ州ハ郷ノ内ナレハ郷大夫モ出テ其事ニ臨ム、故ニ郷射トイフナリ、州長ナル者

95

主人トナリ其在所ノ民ノ中ニテ學問アリテ礼儀ヲ習熟シ射ニ

達セル者ヲ択テ賓トス、司正司射司馬等ノ有司ヲ立て、其外執

事ノ人ヲ數多設テ其儀式ヲ司ラシム、初二酒宴ノ儀式アリ、樂人

參テ詩ヲ歌ヒ樂ヲ奏ス、酒宴畢リテ射始マルニ人ツカイテ

是ヲ耦トイフ、六人ヲ三耦トナス、其余モ耦數多アルヲ衆耦トイ

フ、矢四スシラ乗矢トイフ、人コトニ乗矢ヲ持テ出ル時、司正司射

司馬ノ者其儀式ヲ取ハカラフ、射ノ間モ音樂アリ、耦ノ中カニテ

勝負ヲ争フ事有リ、サレトモ常ノ争ニテハナク、揖讓ヲ要トスル故ニ其

争也君子ナリト孔子ノタマヘリ、此礼コトノ外ムツカシキ儀式ナル故ニ

ヨク々習熟セサレハ行ヒ得ル事難シ、凡男子ノ技芸數多キ中ニ射ヲ以テ最上トス、芸ハ人ノ生質ニヨリテ工拙アル、コレヲ射ノ中ル事ハ必シモ有徳不徳ニヨルマシキ道理モ有レトモ、鄉射ノ礼ハ甚ムツカシキ儀式ニテ射ノ能ク中ルハカリハ貴フニ足ラス、始終威儀進退其度ニ中リテ聊モ 矢

礼ナク可觀ナル様ニアル事ハ内ニ君子ノ徳アリテ身ヲ端正ニ持習ハシタル者ナラテハ及ヒカタキ事ナル故ニ是ヲ以テノ徳行ヲ試ルナリ、此礼三於テ徳行ノ見ヘタル者ヲ君子トシテ庶人ノ中ヨリ抜シテ薦舉テ國家ノ用ニ供ルヲ貢士トイフナリ、總シテカヤウノ大礼ハ強有力ノ者ニアラサレハ行ヒ得ルコトナシ、強有力トハ精神氣力ノ強キヲイフナリ

97

礼ヲ行フニハ早天ヨリ日中マテモカヽル故ニ時刻久シケレハ心モ倦ミ身モ疲レ口モ渴キ腹モ飢テ堪カタキ事多カルヲ能ク堪テ遂行ヒ退屈ノ色ヲ見セサル、是ヲ強有力ト称スル也、此強力ニアラサレハ何ニテモ大事ヲ行フ事能ハス、先王此強有力ノ者ヲ得タマヘテ平日ハコレヲ礼義ノ事ニ用ヒ万一大事アル時ハコレヲ戦ニ用ヒタマヘリ、氣力ノ強弱ハ生質ニ在リトイヘトモ人ノ身ハ習シニヨリテ替ル者ナレハ、只習ハヌニシクハナシ、是射礼ノ大意ナリ、吾国ニハ古ヨリ射

札ナシト聞ニ、今小笠家(ママ)ナドニ射礼トテ伝フルハ近世ノ妄作ニテ甚俗ナル事ナリ、若今鄉礼ヲ行ハントナラハ古礼ヲ考テ新ニ制作

98

スヘシ、鄉党ニハ行ヒカタクトモ士林ニハ行ハレマシキ事ニ非ス○大射礼トイフハ諸侯ノ礼射ナリ、古ハ国君宗廟社稷ヲ祭ントシテハ先大射ノ礼ヲ行フ、祭祀ハ國ノ大事ナレハ殊ニ其礼ヲ重ンシテ妾二人ヲ用ヒス群臣ノ中ヨリ謹慎ニシテ礼儀ニ習熟セル者ヲ折テ祭ニ預ラシム然ル故ニ先大射ノ礼ヲ行テ群臣ノ礼儀ヲ觀ルナリ、大射ハ鄉射ノ如クニシテ其礼又鄉射ヨリモ重シ、鄉大夫ノ中ニテ賓主ヲ立テ事ヲ行ハシム、賓主ハ君ヨリ命セラル有司ノ數モ鄉射ヨリ多シ、礼重ケレハ儀式モ亦甚ムツカシキ故ニ此礼ヲ行テ士大夫ノ輩ノ礼儀ニ習熟セルト未熟ナルトヲ試ルナリ、若果シテ礼儀ニ習熟シテ始終失

99

礼モ無ク射モ多ク中レハ其人ヲ祭ニ預ラシム、射モ中ル事少ク礼儀モ未熟ナル者ハ祭ニ預カル事ヲ得ス、サレハ君其大射ニ召ル、時若射礼未熟ニテ憚ル所アル者ハ病ト称シテ出ス、其故ハ、射ハ男子ノ所作

ニテ必習熟スヘキ事ナル故ニ病ニ非シテハ是ヲ逃ル、事能ハサルナリ、大射ノ

礼行ハルレハ、士大夫ノ人品容兒威儀進退ノ美惡明ニ見ユルノミナラス君

臣上下ノ交リモ睦クナル、其益少カラス、此礼ハ士大夫以上ノ事ナレハ

今ノ世ニモ行ハルヘキ事ナリ、古礼ノ意ヲタニ失ハスハ其儀式ハ如何

ニモシテ今ノ世ニ行フヘキ様ヲ思フヘシ、凡礼ハ義ヲ以テ制スル者ナレハ末

世トテモ制作ナルマシキ事ニ非ス○燕礼トイフハ、燕ハ宴ト通ス、酒宴

100

ナリ、諸侯国ニ事ナク間暇ナル時群臣ヲ集テ酒ヲ飲シメラル、儀式
ナリ、是亦群臣ノ礼儀ヲ觀ンタメ且ハ上下ノ親ミヲツケン為ナリ、古ハ
君臣上下ノ交甚睦キ事、後世ハ異ナリ、朝廷ニテハ上下ノ分弁ヲ嚴
ニスレトモ燕享ノ時ハ君臣和楽シテ歛ヲ交フル故ニ君臣ノ間睦クナリテ
君ハ臣ヲ愛シ臣ハ君ヲ愛シテ思情深クナル、是ヨリ君ハ仁徳ヲ長シ
臣ハ忠貞ヲ励ム、國家安寧ノ本ナリ、燕礼ニハ大夫ノ中ニテ賓主ヲ
立ツ、有司執事ノ者數多ナリ、樂工參テ詩ヲ歌ヒ樂ヲ奏ス儀式
尤重シ、酒宴ノ間臣君ニ向テ再拝稽首スレハ君コレニ答テ再拝ス
衆士小臣樂工マテ皆宴ヲ賜ハル、君恩ノ臣下ニ洽キコト此礼ニ在リ

101

又他国ノ大夫聘使トシテ来レルニモ燕礼ヲ行フ事有リ、是亦來聘ノ
勞ヲ慰ス、異邦ノ客ヲ愛敬スル意ナリ、又燕礼ニハ語トイフ
コト有テ賓主モノカタリスルナリ、語ニハ必先王ヲ称シテ仁義忠
信礼樂ノ道ヲ言フ、故二人君コレヲ聞シメシテハ徳ヲ明ニシ政ヲ
修タマフ益アリ、秦漢ヨリ以後ハ此礼廢シテ君臣ノ間モ稍疎ク
ナリヌレトモ、公燕トイフ事有テ臣下ニ宴ヲ賜フ事後世ニモ猶コレアルハ古
ノ遺意ナリ、吾国ニモ公燕ノ如クナル事ナキニハアラサレトモ、□オモフニ古ノ
王朝ノ礼ハ知ラス、今ノ世ハ君臣ノ間コトノ外嚴ニテ上下睦カラサル故ニ
上ノ情ハ下ニ降ラス下ノ情ハ上ニ達セス、上下隔絶スル事、譬へハ天地ノ

102

氣否塞シテ升降セサルカ如シ、天氣ハ降リ地氣ハ升テコリ陰陽六
氣和調シテ万物其生ヲ遂ヘケレ、天地交ラス陰陽和セサレハ妖災作
リ万物育セス、譬へハ人ノ身ノ内ニテ升降ノ氣ナケレハ疾作ルカ如シ、古ノ
聖人是ヲ知ラシメテ燕礼ヲ制作シタマヘルハ誠ニ深キ知慮ナリ
サレハ今世ニモ古ノ如クノ燕礼ハ行セカタクトモ其意ヲ得テ時々二公
燕ノナシテ君臣ノ交ヲ睦クセラレハ國家ノ為ニ裨益アルヘシ○聘礼
トイフハ諸侯国ニ事ナキ時郷大夫ヲ他國ノ君ノ安否ヲ問フヲ聘ト
イフ、卿ヲ遣スヲ大聘トイヒ大夫ヲ遣スヲ小聘トイフ、聘使ニハ必介アリ
介ハ副使ナリ、介ノ字ヲハタスクルト訓ス、正使ノタスケナリ、後世ハ

副使トイフ、副ハ今ノ俗ニタチカハリトイフ者ナリ、正使ハ一人ニテ介ハ一人ニ限ラス、國ノ大小使者ノ輕重ニ随テ多少アリ、介ノ者多ケレハ其

第一ノ介ヲ上介トイヽ其余ヲ衆介トイフ、凡聘使ヲ遣スニハ君臣皆朝服シテ朝廷ニテコレヲ命ス、其儀式甚重シ、他国ノ君ヲ

重スル故ナリ、又使者ハ我二代リテ行者ナル故ニ臣下ナレトモ敬テ遺スナリ、贈物ハ玉帛皮幣乗馬ノ類、其外其國土産ナリ、玉ハ珠玉ナリ、帛ハ布帛ナリ、此方ノ卷物如シ、皮ハ獸ノ皮ナリ、幣ハ金銀ノ類ナリ、乗馬ハ馬四匹ナリ、古ハ乗車一両ニ馬四匹ヲ用ル故ニ四匹ヲ乘馬トイフナリ、使者既ニ命ヲ受テ行ク、若道二人ノ國ヲ過ルコト

104

ナレハ道ヲ仮ルトイフ礼アリ、其國ノ境ヨリ次介ヲ使トシテ束帛ヲ以テ贈物トシテ其國ノ君ニ請フナリ、次介トハ上介ノ次ナリ、束帛トハ數十ヲ束ト云、道仮ラルヽノ國ノ君ヨリ上下人馬ノ食物ヲ送リ馳走アリテ士ヲ出シテ案内者シテ境ヨリ境マテ導カシム、使者

既ニ到着スレハ主國ノ君ヨリ郊勞ノ儀式アリ、主國トハ聘ヲ受クル國ナリ、郊勞トハ、國外ヲ郊トイフ、國外トハ國都ノ外ナリ、城外ナリ、國ノ境三關門アリ、關門ニ至レハ關吏ヨリ注進アリ、主國ノ君ヨリ士ヲ出シテ導カシム、既ニ境ニ入テ城外ノ郊マテ來レル時、主國ヨリ郊勞ノ

使アリ、聘使ノ輕重ニ隨テ或ハ大夫ヲ (遣カ) 遣シ或ハ鄉ヲ (遣カ) 遣シ或ハ鄉

105

ヲ遣ス、労ハ慰労ノ義ニテネキラフト訓ス、旅行ノ労ヲ賞シテ疲ヲ慰ル意ナリ、郊労ニハ束帛并ニ食物菓子等ヲ送ル、郊

労畢レハ主國ノ大夫聘使ヲ引テ客館ニ入ル、客館トハ旅客ヲ

舍ス所ナリ、聘使既ニ客館ニ入レハ、主國ノ君ヨリ朝夕ノ調膳ノ具、人馬ノ食物、薪芻ノ類マテヲ送リ、官吏ヲ遣シテ食物ヲ用意

セシム、今ノ俗ニイフ馳走ナリ、其後主國ノ君使ヲ以テ聘使ヲ朝廷ニ迎シム、聘使朝廷ニ至ル、賓主相見ノ礼甚ムツカキ儀式ナリ主國ノ君ニハ擯者アリ、擯トハ君ノ礼儀ヲ佐ル者ナリ、鄉ヲ上擯トシ、大夫ヲ承擯トシ、士ノ紹擯トス、賓ニ介アル故ニ主人ニ擯者アリ

106

使者君命ヲ致テ後ニ自分ニテ主國ノ君ニ見ユル礼アリ、是ヲ私覲トイフ、此礼畢テ聘使客館ニテ聘使其國ニ帰テ使ノ始末ヲ君ニ言上シ他國ノ答ヲ述ルヲ反命トイフ、反命ノ儀式モ作法ムツカシ反命ノ時君使者ヲ再挙ス、是亦他國ノ君ヲ敬ハルヽ故ナリ、使者

并ニ介マテヲ (解カ)
□ シテ、皆ソレタニ賜物アリ、是聘礼ノ大略ナリ、諸侯ヨ

リ使ヲ天子ニ奉ルヲモ聘トイフ、諸侯ノ使者ハ天子ノ陪臣ナレトモ
天子必御前召出シテ天顔ヲ拝セシメ、聘礼ノ行ハシメラレル諸侯ノ
聘礼ニ似テソレヨリモ重シ、朝廷ニテ酒ヲ賜ヒ食ヲ賜フコトハ諸侯ノ
国ノ礼ノ如シ、陪臣ナレトモ天子ノ御前出テ天顔ヲ拝シ享燕ヲ

107

賜ハルハ諸侯ノ重ンセラル、故ニテ使者ノ面目ナリ、ケヤウニ式礼ナル
故ニ諸侯ノ国も互ニ相和シテ睦シ、陪臣トイヘトモ天子ノ思ヲ感戴ス、
是スナハチ天下和平ノ道ナリ、吾国ハ天下封建ナレトモ諸侯ノ聘礼
ナシ、間ニ別事アリテ遣スコト有レトモ其儀式甚麗末ナリ、諸侯
ヨリ聘使ヲ東都ニ奉ル事有レトモ古聘礼ニ似タルコト少モナク、君
上ノ洪恩臣下ニ及フ事少シ、是歎カシキ事ナラスヤ、古ノ聘礼ノ如ナル事
ハトテモ今ノ世ニ行ハルヘクモアラネトモ、諸侯ヲ重シ臣下ヲ礼シ洪
恩ヲ下ニ及ホシタマウコトハ聘礼ノ義ヲ以テ稍其儀式ヲ始ラレハ万分
ノ一モ古礼ノ意ニ叶フマシキニアラス、是有道ノ士ノ同ク願フ所ナリ

108

○朝覲ト云ハ諸侯ノ天子ニ見ユル礼ナリ、今此方ニイフ参勤ナリ
勤ハ観ノ字ノ誤ナリ、古ハ諸侯六年ニ一度天子ニ見ユ、春見ユルヲ朝
ト云、夏見ユルヲ宗ト云、秋見ユルヲ覲トイフ、冬見ユルヲ遇トイフ
常ニコレヲ總テ朝覲トイフハ春秋ヲ挙テ夏冬ヲ兼ルナリ
諸侯天子ニ朝スルニ王城ノ外ノ郊ニ至レハ天子ヨリ使ヲ以郊勞
シタマフ、玉ヲ以テ礼ヲ行フ諸侯ノ方ヨリ束帛乘馬ヲ出シテ
天子ノ使者ニ贈ル、使者帰ル時諸侯コレニ從テ王城ニ入、天子ヨリ
使ヲ以テ館ヲ賜フ、其使者モ諸侯ノ方ヨリ束帛乘馬ヲ
贈ル、其後天子ヨリ大夫ヲ使トシテ朝参ノ日ヲ命セラレ、定日

109

三及テ諸侯朝参ス、皮幣玉帛乗馬其外土産ヲ献ス、天
子ニハ擯者アリ諸侯ニハ介アリ、儀式甚重シ、礼畢テ退出ス
其後天子ヨリ享燕ヲ賜フ、賓客ノ礼ヲ以テ接待シタマフ、礼
儀甚尊嚴ナレトモ君臣ノ際ノ睦キコトハ後世ノ君臣ト大ニ異ナリ
又古ハ諸侯ノ中ニテ互ニ相朝スルコト有リ、是ヲモ朝トイフ、今ノ世ニハ此礼ナシ
○享礼トイフハ、享ハ饗ト同シ、此方ニテ饗膳饗心トイフカ如シ、賓
客ヲ食物ニテモテナス儀式ナリ、諸侯ノ天子朝シ、諸侯ノ諸侯ニ朝シ、諸
侯ノ鄉大夫諸侯ニ聘セルニ皆享礼アリ、儀式尤重キ事ナリ、享礼ニハ
侑食トイフ事アリ、侑ハスヽムルト訓ス、食ラスヽメテクハスルナリ、侑食

束帛ヲ贈ル、是ヲ侑幣トイフ、享札ノ外ニ又燕札アリ、燕ハ酒宴

ナリ、賓客ニ酒ヲノマスル儀式ナリ、燕札ニモ貨物ヲ賓客ニ贈ル事アリ
是ヲ好貨トイフ、此方ニテ引出物トイフカ如シ、燕札大略前ニ云カ如シ

酒ハ人ノ歎ヲ合スル物ナル故ニ君臣ノ間ノ尊嚴ナルヲモ酒宴ニテ和ケ
テ上下ノ交ヲ睦クスルナリ、然レトモ酒ハ人ヲ狂乱サスル物ナル故ニ殊ニ

礼儀ヲ重クシテ放逸ナラサルヤウニスルナリ、凡先王ノ礼ハ上下尊

卑ヲ弁別スルヲ旨トスレトモ、弁別甚シケレハ交通ノ路ナクシテ上

下隔絶スル故ニ上下ノ情ヲ交ン為ニ燕饗ノ礼ヲ制シテ君臣上下

尊卑長幼ヲ和睦セシメタマヘルナリ、サレハ古ノ礼ハ嚴ナレトモ和ヲ傷ラス

111

和スレトモ嚴ヲ失ハス、嚴ヲ以テハ亂ヲ防キ和ヲ以テハ思ヲ結フ、國家安寧
ニシテ長久ナル事礼ノ力ニアラストトイフ事ナシ、礼記ニ礼従宣トアレハ必シモ
古ノ礼ヲ今ノ世ニ行フヘキトイフニハアラネトモ、苟モ礼ヲ制セントキハ古礼
ノ意ヲ斟テ今ノ時宜ニ合スルニアラスシテハ礼ノ本意ヲ失事有ルヘシ、
夷狄ヲ名ツケテ中華ヨリ賤ムルハ礼義ナキ故ナリ、中華ノ人ニテモ礼
義ナケレハ夷狄ト同シ、夷狄ノ人ニテモ礼義アレハ中華ノ人ニ異ナラス
日本ハ古ヨリ何事モ中華ヲ学フ国ナレハ、礼樂ヲ興サンニサノミ難キ
コトハ有マシキナリ

112
已上礼ヲ論ス

○樂ハ本人ノナクサミニナリ、樂ハ樂也ト釈シテ人ノ心ノ樂ヨリ起ル者ナリ
人ハ本動物ナル故ニ須臾モ所作ナクテハアラヌ者ナリ、若シ暫時モ
所作ナケレハ必邪僻ノ心起リテ不善ヲナスコト有リ、何ニテモ所作
アレハ其所作ヲナシテ心ヲナクサムハ常ナリ、然レトモ常ノ所作モ
ナシカタキ時アリテ心サヒシキ事有リ、又所作ニヨリテ心ノ鬱結スル
コトモ有リ、サヤウノ時ニ歌謡ヲナシテ声ヲ發シ氣ヲ泄シ絲竹ヲ
鳴シテ鬱ヲ開キ、ツレ々ヲナクサム、是亦人ノ常ノ情ナリ、又宴享
等ノ事ニテ会集スルモ飲食ノミニテ日ヲ暮シ夜ヲ明シテハ歎
樂尽カタキ故ニ必歌舞音樂ヲ用テ賓主ノ歎ヲ尽シ睦ヲ

113

修シ好ヲ結フ、是又人情ノ己事ヲ得サル所ナリ、凡樂ハ人心ヲ和セル
者ナリ、礼ハ嚴敬ニ本ツカスル故ニ礼ヲ正クスレハ人倫ノ君臣父子

樂ハ和ヲ本トスル故ニ是ヲ用テ君臣上下父子兄弟ヲ和スルナリ
夫婦兄弟 明 (朋カ) 友ノ間嚴畏懲ナルノミニテ和睦ノ意失ヒヤスシ

サレハ古ノ時礼ニ必樂ヲ用ルハ和ヲ導ン為ナリ、樂ニ必礼ノ用ルハ
敬ノ存セン為ナリ、又古ハ賓客宴スルニ或ハ射礼ヲ行ヒ或ハ投壺トテ
矢ヲ壺ニ投入ル、ナクサミアリ、是ニモ樂ヲ用ルハ歎樂ヲ飾ル宴ナリ、又
礼儀ヲ節ゼン為ナリ、礼儀ヲ節ストイフハ、節ハホトナリ拍子ナリ
大礼ヲ行フニハ進退遲速ヲ度ニ合セテ其ホト拍子ヲ齊ワスルニ

114

樂ヲ以テ相団トスルナリ、譬ハ僧家ニテ仏事ヲ行フニ鐘鼓ヲ擊

テ進退作止ノ相団トスルカ如シ、此等ノ儀ニヨリテ大礼ニハ必樂ヲ用ル
ナリ、凡人ハ少心ヲナクサムコト無クテハアラヌ者ナリ、心ヲナクサメテウツヲ
開キ氣ヲ行スコト樂ニシクハナシ、サレハ天地ノ間中国ヨリ外万国ニ至ル
マテ國トシテ樂ナキハ有ラス、然ルニ夷狄ハ土地ニ偏氣アル故人ノ情モ
偏僻ニテ樂ノ聲音多クハ正カラス、中國ニモ鄭衛桑間濮上ノ樂ハ

淫声ナリ、先王ノ雅樂ノミ天地ノ正氣ヨリ出タル声ニテ真ノ中和ノ音
ナリ、凡音樂ハ妙二人ノ心ヲ感動スル者ナリ、サレハ淫樂ヲ聽ケハ心
蕩テ淫佚ニ流レ、雅樂ヲ聽ケハ心正クナリテ中和ニ合フ、是天然ノ妙

115

ナリ、孝經ニ移風ニ易俗莫善於樂ト云ルハ淫樂世ニ行ハルレハ民ノ風

頽作レシ、雅樂世ニ行ハルレハ民ノ風俗正クナルコト古今コレ同シ、風俗ヲ

移シ易ル者ハ樂ナル故ニ風俗ヲ保ツ者モ樂ナリ、サレハ國家ヲ立ル

ニハ初二雅樂ヲ作リテ世ニ行ヒ、淫樂ヲ禁シテ民間ニ用ヒサラシムル

是王者ノ要務ナリ、孔子ノ顏淵ニ邦ヲ為ルコトヲ告タマフニ樂則

詔舞トノタマヒテ又放鄭声トノタマフ、スナハチ此義ナリ、秦ノ代ニ儒

書ヲ焚キ儒者ヲ殺スヨリ礼樂ノ道絶スレトモ、漢ノ代ノ諸ノ博士ニ

詔シテ古書ヲ考シメテ古道ヲ興サレシヨリ礼樂ノ道復興レリ、三代

舌ニ及ハストイヘトモ漢ヨリ以後歷代ノ帝王天下臨タマヒテハ必礼樂

116

ヲ作ラシメラル、礼アレハ必樂アリ、天地社稷宗廟祭タマフニ樂ヲ

用ヒストイフ事ナシ、是天下ヲ治ルニ礼樂ナクテ叶ハサル故也、漢ヨ

リ以後ノ樂ハ完キ古樂ニ非トイヘトモ郊廟々廷ニ用ユル

樂ナル故ニ世俗ノ淫樂トハ同日ニ語ルヘキ者ニ非ス、日本ニハ聖

德太子中華ノ樂ヲ求テ數多ノ □ 人スコシヲ習ハシメテ朝廷ニ

(帝力)

用ラレシヨリ今ノ世マテニ伝ハレリ、此方ニ伝ハレル樂ハ漢朝ヨリ
唐朝マテノ樂ナリトイフハ琵琶・横笛・簫篥・洞簫・尺八・鞨鼓

ナト皆漢以後ノ樂器ナル故ナリ、サレトモ絲ノ属ニ琴アリ、匏ノ
属ニ笙アリ、此ニツニハ皆上古ノ樂器ニテ此方ニ伝ハレリ、琴ヲハ

昔ハ鯖尾琴ト名ツケテ樂ニ用タリト云伝フレトモ世ニ伝ハラス、箏ハ秦ノ樂器ニテ漢ヨリ以来コレヲ用フ瑟ヨリ出タル者ニテ瑟二十五絃ナルヲ半ニシテ十三絃ニナシタリトイヒ伝フ、是モ古キ物ナリ、和琴ハ吾國神代ノ樂器ナリトイフ、今オモヘハ其制中華ノ筑トイフ者ニ似タリ、中華ハ唐朝マテハ古樂遺リテ有シカ音楽大ニ変セリト聞ユ、吾國ノ樂ハ唐人ヨリ受来レル故ニ却テ古樂多シトイフ、然レハ今吾国ニ伝ハレル如キノ樂ハ今ノ中国ニハ絶テ有マシキナリ又此方ニハ高麗ノ樂アリ、高麗ハ今ノ朝鮮ナレトモ今彼国ニハ高麗ノ樂少モ伝ハラストイフ、凡異国ニテハ歷代天下ノ改マル時

118

必礼ヲ制シ樂ヲ作ル故ニイツトナク變化シテ古樂亡失テ新樂ト

ナルコト有アリ、此方ニハ新三樂ヲ作ルコト無ク、聖德太子ノ時

(俗カ)
□人ヲ定

置テ專門ニ此業ヲ守ラシメラレシ故ニ千余年ヲ歴テ今ノ世マテ

三亡ヒ失セシシテ全ク伝ハレリ、誠ニ珍重スヘキ事ナリ、琴ヲ彈スル事ハ源氏物語ナトニ見エテ昔ハ殊ニ是ヲ用タリト聞ユルニ、イツノホトヨリカ其道亡テ今ノ世ニハ知レル人ナシ、琵琶等和琴ハ其道伝ハレリ、尺八トハ唐ノ玄宗ノ好タマヘル物ニテ昔ハ雅樂ニ用タリシニ是モイツホトヨリカ廃レテ今ハ俗樂トナレリ、南都ノ法隆寺ニ聖德太子ノ吹タマヒシ尺八アリトイフ、長サ一尺八分ナル故ニ尺八トイフ、今ハコレヲ一節

119

断トイフ、竹ノ節ヲツコムル故ナリ、今世ニ虛無僧ノ吹ラ尺八トイ

フハ謾ナリ、彼ハ洞簫ノ樂器ニテ其制度ハ

(俗カ)
□士ノ家ニ伝ハリテ

今ノ世ニモ有レトモ吹ク人ナシ、今ノ樂器ハ琵琶・箏ニ和琴ヲ三

絃トイヒ、(マミ) 箏・簞篥・横笛ヲ三管トイヒ、鞨鼓・太鼓・鉦鼓ヲ三

鼓トイフ、昔ハ歌ノ類ニハ今様・朗詠トイフ者アリ、今様ハ俗間ノ歌曲ナレトモ其詞鄙俚ナラス、風雅ニ近キ者ナリ、朗詠ハ公任

大納言ノ和漢朗詠ヲ歌フナリ、是ニハ管絃ヲ和スルコト有リ、サテ管絃ハ上一人ヨリ下民間マテ同ク用ラル、事ナリシ故ニ俗説ニ矢作宿長ノ女モ管絃ヲナシタリシコトヲイヒ伝フ、平重衡囚トナリテ

120

鎌倉ニ在シ時、千壽トイフ伎女参テ箏ヲ弾セシニモ五常樂・回忽・皇麿ナトラ奏セントナリ、凡其比ハ是ヨリ外ニ別ノ音樂ナカシリ故ニ

貴賤皆此雅樂ヲ奏シテ心ヲナクサメシナリ、但清盛ノ好マレシ白拍子

トイフ者ハカリ伎女ノ歌舞ニテ吾国ノ風俗ナル者ナリ、然レトモ其歌ノ

詞ヲ觀レハ風雅ノ意アリテ今ノ世ノ歌曲ノ如クニハアラス、今ノ世ニ有ル大頭ノ

舞ト云者昔ノ白拍子ノ流ナリ、サレトモ昔ノ如クノ歌曲ハ無シト聞ユ、北條

家ノ末ノ世ヨリ猿樂・田樂ナトイフ者アリテ古ニ無キ俗樂作レリ、

然レトモ此等ノ類ハ其樂工ノ者ノスルワサニテ士大夫ノ自身ニ其事ヲ

ナスニハ非ス、其世ニモ士大夫ノ心ハ只雅樂ヲナシテ樂トセシナリ、新田義貞

121

ハ笛ヲ吹キ、足利尊氏ハ笙ヲ吹キ、楠正成ハ琵琶ヲ弾シテ皆堪能
ナリシトカヤ、室町家ノ末ヨリ猿樂盛ニナリ、朝廷ノ燕享ニコレヲ
用ラレシホトニ自然ニ武家ノ樂トナリテ海内ニ行ハル、コト二百余
年ニ及ヘリ、此猿樂ハ中華ニテノ俳優雜劇ノ類ナリ、其音声ハ
古人ノイヘル北鄙殺伐ノ声ニテ中和ノ声ニ非ス、凡人ノ声ハ必絲竹ニ協フ
者ナルニ猿樂ノ謳ハ絲竹ニ協ハス、笛ノ声ハ律ニ中ラス絲ニ協ハス、鼓
ヲ打ツ者ノカケコエハ罪人ナトノ叫フニ似タリ、總シテ樂ハ中和ノ氣ヲ
養フ者ナリ、猿樂ニハ中和ノ声ナクシテ鬪争スル者ノ擊アヒテヲメキ
サケフカ如ク謳シキコトノミナレハ、是ヲ樂ム人ハ覺エス、中和ノ氣ヲ傷ルヘシ

122

幸若ノ舞トイフ者アリ、幸若氏ノ者ノ所作ナリ、イツノ世ヨリ始マ
レルヤラン、輓近ノ事ト聞ユ、舞ト称スレトモ舞ニハ非ス、扇モテ手ヲ拊テ
拍子ヲ取テ古人ノ事ヲ謳フ、猿樂ノ謳ノ如クナル者ニテ是亦音律ニ
叶ハス、中和ノ声ナク北鄙殺伐ノ声ナル者ナリ、琵琶法師ノ物語ト云ハ
琵琶ヲ弾シテ平家物語ヲ謳ナリ、信濃前司行長方生仏トイ
フ瞽者ニ教テ謳ハシメケルヨリ始レリトイフ、猿樂ヨリ古ギ事ニテ
音声モ中和ノ氣ハナケレトモ、シメヤカナルコト猿樂ノ謳ニハ勝レリ、說經
トイフハ昔釋氏ノ属ニ説經師トイフ者アリテ仏菩薩ノ縁起
ナトヲ詞ニ属テ称名念佛ニ加テ謳テ世ノ俗人ニ仏道ヲ勸ケル

123

ヨリ始リテ其後異国本朝ノ古人ノ事ヲ哀ニ悲ミヲ取、又ハ名僧ノ伝
ナトヲ撰シテ詞ニ属テ人世ノ無常ナルコトヲ示シ、人ニ菩提ヲ勸シナリ
今其詞ヲ聽ケハ鄙俗ナルコトモ多ケレトモ今ノ世ノ流俗ニハアラヌ事ト
モアリ、本ハ鉦鼓ヲ鳴シテ拍子トセシヲ、今ハ賤キ樂工ノ業トナリテ
三線ヲ和スルコト、トナリヌ、説經ハ悲哀ヲ主トシテ人ヲ泣シムルヲ貴フ
淫声ニアラサレトモ哀声ヲ過ルハ淫ノ端ナリ、淨瑠璃トイフハ略説經ノ
如ナル者ニテ其始サタカナラス、俗説ニ近世小野氏ノ女昔三河国矢
作ノ宿ノ長ノ女淨瑠璃トイヒシ者ノ事ヲ十二段ノ詞ニ作テ謳ヒシヨリ

始レリトイフ、其後此曲世ニ盛ニ行ハレテ異国本朝ノ古人ノ事ヲ詞ニ

124

属ア謳事ニナリ、又其音調モ関東・関西ニ種々ノ変調アリテ

一ヤウナラス、賤キ楽工并ニ瞽者ノ業トナリテ世俗ニ用ラル、初ハ古
人ノ名アル者ノ事ヲ作リシ故ニ其詞モ文雅ナリシニ、後ニハ世俗ヲ
モテハヤスニ從テ近来ノ賤キ者ノ色慾三溺レ淫乱ニシテ家ヲ亡シ
身ヲ喪シ事ヲ作レル故ニ其詞モ鄙俗ニナリ来レリ、昔ノ淨瑠璃ハ
鄙俚ナル者ナカラモ士大夫ノ中ニ玩ヒテモ其害猶少カリシニ今ノ
淨瑠璃ハ猥芸ノ至極ニテ甚シキ淫声ナレハ士大夫ノ玩フヘキ事ニ
非ス、凡國ニ淫声ノ禁ナケレハ民間ニ種々ノ淫樂ヲ作り出シテ人ノ
心ヲ流蕩サスルナリ、サレハ先王ノ政ニ淫声ヲ作ル者ヲハ殺スヨシ、礼記ノ

125

王制ニ見ヘタリ、俗間ノ歌曲ノ類モ皆淫声ナレトモ昔ハ其詞文雅ニ
近カリシニ近來ハ鄙俚猥芸ヲ極テ聞ク者ニ耳ヲ掩ハシムルハカリ也
箏ハ本雅樂ニノミ用タリシヲ、近世雅樂ニ非スシテ別ニ一種ノ曲調ヲ作
出シテ俗間ノ常ノ歌ニ和スルコトアリ、筑紫ノ人ヨリ起レリトテ是ヲ
筑紫箏トイフ、其本ハ雅樂ノ越天樂ヨリ變化シ来リテ今ハ種々ノ

歌曲トナレリ、雅樂ニハアラサレトモ淫声少シ、三線・小弓トイフ者俗樂
ノ要器ナリ、此ニツノ器ハ皆近世琉球國ヨリ来レリトイフ、琉球ニテハ
雅樂ニ用ルヲ此方ニテハ俗樂ニノミ用ルナリ、三線ハ中華ノ胡琴ト
イフ者ニ近シ、小弓ハ箜篌トイフ者ニ類ストイフ、小弓ノ声ハ野鄙

126

ナルヤウナレトモ却テ雅ニ近キ處アリ、三線ノ声ハ淫声ノ至極ナ
リ、此声纔ニ発スレハ乍二人ノ淫心ヲ動カスコト他ノ樂器ノ比類ニ
非ス、形ハ琵琶ニ類スレトモ琵琶ハ彈法簡疎ナリ、三線ハ彈法
極テ繁數ニテ人ノ声ニ協コト他ノ樂器ノ及フ所ニ非ス、然ル故ニ
人ヲ悅ハシムルコト甚シクシテ世俗ノ好ミニ入事深シ、上ニイエル説経
淨瑠璃其外俗間ニアラユル歌曲皆三線ヲ和セサレハ其声美ヲ
尽ス事能ハス、凡俗ノ淫樂ハ必繁手トテ手ヲ繁ク細ニスル事有リ
繁手ハ三線ニ至テ極レリ、是ニヨリテ世俗ノ耳ヲ悦ハシメ心ヲ樂マ
シムル事甚シクナリテ始ハ瞽師賤工ノ所作ナリシニ今時ハ貴人モ是

127

ヲ学フコトニナリヌ、況ヤ士庶ノ間ニハ芸ニ精キ者多シ、此三線・小弓モ
其調ヲ正クシテコレ雅樂ニ用ヒナハ雅樂ナルヘケレトモ、俗調ヲ以テ
淫樂ニノミ用ル故ニ全ク淫声トナレリ、箏・尺八ノ類ヲ俗樂ニ用レハスナ
ハチ淫声ヲ出スカ如シ、然レハ淫声ハ器ノ罪ニ非ス、調ル者ノ罪ナリ、凡樂

ハ人ノ声ヲ本トス、人ノ声正シケレハ絲竹ノ声モ正シ、人ノ声淫ナレハ管絃ノ声モ淫ナリ、樂ハ必歌ニ和セテ奏スル故ナリ、サレハ淫樂ヲ禁スルニハ民間ノ歌謡ニ淫声アルヲ禁セサレハ淫樂止コトナシ、民間ノ歌謡ニ正キ事ヲイハスシテ淫乱猥芸ノ事ヲ謳フ故ニ士民童雅ノ時ヨリ

習聞ク、人ノ心皆放蕩淫佚ニナルナリ、又中華ニ俳優トイフハ此方ノ

128

狂言師ナリ、中華ニ雜劇トイフハ此方ノ歌舞妓モノマネナリ

中華ニテハ俳優ノ輩ニ会シテ雜劇ニモ必古ノ孝子忠臣等ノ

事ヲナサシメテ淫邪不法ノ事ヲナサシメス、是民ノ風俗ヲ敗ン事ヲ恐ル、故ナリ、此方ノ今ノ歌舞妓狂言ハ今ノ俗情ニ協ヘントテ今ノ民間ニアル淫乱放佚ノ事ヲナス故ニ皆人ニ淫ヲ教ルナリ、民ノ風俗ヲ敗ルコト是ニ過タルハナシ、皆淫樂ノ故ナリ、風俗ノ頽ル、ハ國家ノ患ナレハ、淫樂ノ政治ヲ害スルコトハ誠ニ莫大ナリ、古ハ雅樂世ニ流布シテ庶民モ是ヲ以テ樂トセシハ下ニ別ノ俗樂ナカリシ故ナリ、後世ニハ下種々ノ俗樂出来テ人ノ耳目ヲ悦ハシムル故ニ只當時ノ俗情ニ近キ

129

ヲ悦テ是ヲ面白トオモフ心ヨリ雅樂ハ俗樂ホトニ面白カラスナリテ遂ニ廢レタルナリ、猿樂ハ鄙俗ナル者ナレトモ只殺伐ノ聲ニテ管絃ノ律呂ニ協ハサルノミニテ淫不詳ノ声ナキ故二人ノ淫心ヲハ動サス、余ノ俗樂ハ悉淫娃ナルヤ、義不穩ノ声ナル故三人ノ淫心ヲ發動スルナリ、人ノ心ヲ悦ハシムルモ淫声ノ故ナリ、俗樂淫声ノ中ニモ亦昔ト今ト変易アリ、昔ノ歌曲ハ淫ナル事ヲ言フニモ吾国ノ雅語ヲ用テ詞ヤサシク作レルニ、世ノ末ニナルホト漸々ニ風調変リテ次第二鄙俚猥芸ニナリテ人家ノ父子兄弟ノ間ニテハ聴クニ忍ヒサルホトノコト多シ、是スナハチ風俗ノ衰ナリ、國家ニ雅樂ヲ用ヒ斯淫樂ノ禁ヲ立サレハ必カクノ如クナルナリ

130

聞其樂而知其德トイヘルハ、樂ハ德ヨリ出ル故ニ古ノ世ノ善惡ヲ知ル事ハ樂ヲ觀テ知ルナリ、俗樂ハ民間ニテ制作スル者ナレハ是ニテ其世ノ民ノ德ノ善惡ヲ知ルナリ、俗樂ノ風俗ヲ敗ル如ク雅樂世ニ行ハルレハ風俗必正クナルコト天然ノ妙ナリ、風俗ヲ移スコトハ樂ニシク者ナシトイフハ邪ヨリ正ニ移スハ雅樂ノ力ナリ、正ヨリ邪ニ移スハ俗樂ノ力ナリ、古ノ聖人樂ヲ作リテ人ノ心ヲ慰メタマヘルハ風俗ヲ保テイツマテモ変セサラシメン為ナリ、樂ヲ以礼ト並ヘテ此ニツナリ、國家ノ政務ノ本トシタメヒシハ誠ニ深キ智慮ナリ、孫武・吳起力兵法、老□（耳十冉）・莊周力無為、申不害・韓非力刑名、商鞅・古斯力法術、凡諸子百

131

家ノ道皆天下國家ヲ治ムルコトヲ宗トスル故ニ彼等力道ヲモ善

ク用レハ何ニシテモ天下治マラストイフコトナシ、然レトモ彼等ハ皆礼樂ヲ捨ル故ニ一時ノ治平ヲ致スノミニテ永世ノ治化ヲ開クコトハ決シテ能ハス、二帝三王聖人ノ道ハ礼樂ヲ以テ太平ヲ無窮ニ保ツ、是諸

子百家ニ無キ事ナリ、然ルヲ後世ノ人主先王ノ治ニ倣ハントナラハ必礼樂ヲ興シタマフヘキナリ、我カ日本ニハ幸ニ古樂伝ハリテアレハ是ヲ朝廷ニ用ヒ士庶ノ間ニモ行ハ、長久ノ計ナルヘシ、ソレトテモ近來世ニ行ハル、俗樂歌舞妓ノ類モ卒ニ禁シカタカルヘケレハ其中ニ就テ法制ヲ立テ説経・淨瑠璃ニハ古人ノ孝悌忠義ノ事ノミヲ作テ今時ノ淫乱猥芸

1
3
2

ノ事ヲ言ハス、哥舞妓狂言ニモ人倫ノ道ヲ害スル様ノ事ヲナサス
里巷ノ歌謡モ鄙俚猥芸ノ事ヲ禁シテ淫民ノ防ヲ固クセラレハ

風俗モ淳朴ニ復リ、國家長久ノ基ナルヘシ、是スナハチ先王礼樂ノ教也

已上樂ヲ論ス

1
3
3
（白紙）
1
3
4